

金沢市教育委員会事務事業
点検・評価報告書
(平成21年度執行分)

平成22年11月
金沢市教育委員会

平成21年度金沢市教育委員会事務管理及び執行状況の点検評価について

金沢市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した7名の教育委員により組織された合議制の執行機関で、その権限に属する教育に関する事務を管理執行している。

この度、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成21年度における教育委員会の活動及び所管事務について、その管理及び執行状況の点検及び評価を行い、この度、その結果を報告書としてとりまとめた。

具体的な点検及び評価方法については、一昨年度、昨年度に引き続き、対象分野を教育委員及び教育委員会が行った活動・事務と教育委員会事務局が行った事務(教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務)と大きく2つに分け、それぞれについて点検及び評価を行うこととした。

教育委員及び教育委員会が行った活動・事務については、主に教育委員会議の概要及び教育委員の活動について、その具体的な内容を記述し、点検・評価をした。

また、教育委員会事務局が行った事務については、金沢市の将来的な姿を定めた「金沢世界都市構想 第2次基本計画」の施策体系に沿って分類した各基本方針に基づいて、各々の事務を出来るだけ具体的かつ客観的な数値をもとに点検及び評価した。

上記の点検・評価については、法により「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」と定められていることから、金沢大学名誉教授 金子勲榮氏及び金沢市社会教育委員の中島秀雄氏から意見を頂き、反映した。

金沢市教育委員会は、今後ともこのような活動・事務に対する点検・評価を行い議会への提出や公表を通じて、金沢市民にわかりやすく教育委員会の活動を説明していくとともに、個々の事務を検証・改善しながら、本市の教育基本方針である、「人間尊重の精神のもと、広い視野を持ち、生涯を通じて自己向上につとめるとともに、社会の平和と進展に貢献し得る心身ともに健全な人間を育成する」の実現に向け、教育の充実と振興を目指す所存である。

平成22年11月

金沢市教育委員会

目 次

学識者の意見等	1
平成21年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員状況	3
(2) 教育委員会議の実施概要	3
(3) 教育委員の活動	4
(4) 教育委員会議及び教育委員の活動についての点検・評価	6
金沢世界都市構想第2次基本計画における教育委員会の施策	8
平成21年度金沢市教育委員会主要事務概要	
- 1. 世界に通ずる子どもの育成	
・金沢子ども条例の具現化	9
・子どもの体験・交流機会の創出	10
・子どもの育成環境の整備	13
- 2. 個性を生かした学校教育の推進	
・「学校教育金沢モデル」の推進	18
・特色ある教育の推進	21
・多様な教育の推進	25
・地域に開かれた学校づくり	29
・教員の資質向上	32
・学校環境の整備・充実	33
・市立工業高等学校の整備・充実	37
- 4. 生涯にわたる学習環境の支援	
・生涯学習機械の充実	39
- 1. 伝統文化の保存・継承	
・文化遺産の保存	46
・金沢ゆかりの文化の保存・活用	46
- 2. 子育て環境の整備	
・子育て支援体制の充実	47
- 4. ノーマライゼーション社会の実現	
・バリアフリーの推進・障害のある方の自立支援	50
- 5. 人権文化の創造	
・人権の尊重	51
・男女共同参画社会の推進	51
- 1. 災害に強いまちづくり	
・防災計画の見直しと体制の強化	52
・地域防災・防犯活動の支援	52
用語等説明	55

学識者の意見等

金沢大学名誉教授 金子 勲 榮

1. 教育活動の多角的実施

金沢市教育委員会が行った各種事業等について点検評価がなされ、金沢市ならではの教育に関する具体的事業それぞれについて、また、教育委員会事務局が行った事務について、その実施状況と効果や課題、今後の方向性が示されている。

教育委員会における関連事項に関する活発な議論、教育委員の具体的活動も含め、金沢市の教育施策が順調に進められている。金沢市ならではの先進的な取り組み、世界的視野で行動する子どもの育成、その歴史的文化的環境の中で、特色ある学校教育等が実施されている。多角的視点に立ち、さまざまな関係領域で、それぞれの関係者の努力によって、数多くの事業等が計画・実施され、全体として、金沢市が目指す目標達成に向けて、関連教育活動が充実したものになっていることが理解できる。

2. より分かりやすい点検評価

その一方で点検評価の在り方を考えると、明確な点検評価がやや不足しているようにも見える。適切な点検評価のために、各事業等についての効果や関連した課題についての更なる記述が必要であろう。また数値を示すだけでなく、その内容に関する説明が不足していると思われるものもある。

言うまでもなく、各事業等は重要な意味を持っており、それぞれの目標達成に向けて取り組まれている。しかもこれらの事業等の中には、短期間ではその効果が認められないものや、点検評価のための明確な根拠を示しにくいものも少なくない。子どもの成長や教育活動に関するものの多くは、特にこれに該当し、これらに関して、無理矢理に短期的効果を記述したり、形式的に客観的根拠を基に評価等を行うことは、本来の目的に沿わないことになるかも知れない。数値化等についても、それが目的の達成を示しているか否かを常に考えなければならない。

3. 事業等に関する課題

各事業等に関する問題点があまり示されていない。多くの事業等は順調に実施され期待された効果があったことを示しているのかも知れないが、常に活動を向上させよりきめ細かい取り組みを目指すために、更に関連した課題を指摘することが必要であろう。

4. 総合的な点検評価

個々の事業等についての点検評価のみならず、うまく機能した部分と課題が残った部分を示すような、より全体的視点にたった点検評価も、さらに必要であるように思う。全体的に見渡すことにより、各事業の連携によるより円滑な目標達成も可能になるとと思われる。

5. 負担にならない点検評価システム

教育委員会としての活動等は、極めて広範囲に及び関係する事業等の数も膨大であるため、これらに関する点検評価は容易ではない。次の活動へ繋がる、より有効な点検評価とするためにも、各事業等担当者が実施時に自己点検評価をすること等を含めた、報告書作成者の負担にならないような点検評価システム造りも必要であろう。

これらの点検評価結果が活かされ、金沢市の教育関連活動が更に充実発展することを期待したい。

この点検・評価報告も3回目をむかえ、従前のA3見開きスタイルがA4ページ内での記述に変わり、非常に読みやすく、状況を把握しやすくなったことをまずは評価したい。

金沢市の基本方針である「金沢世界都市構想 第2次基本計画」に基づいて種々の事業・事務が展開されていることは当然のこととはいえながらも、社会環境の変化や、それに伴う市民の意識や行動の変化も見受けられる中での「よりよい地域社会づくり」を目指しての真摯な努力が続いていることに敬意を抱くものです。

さて学校教育にせよ社会教育にせよ、技術・技法を教え込む面とその人の考え方や能力を引き出す面の二面性があるわけですが、その成果も数字で表せる解かりやすいものと具体的には見えないものがあり、そこをどのように点検・評価していくかは難しいものがあります。

全般的にはP-D-C-Aのサイクルの中で事務事業の点検・評価を行い次年度以降の事務事業の充実に向けようとのスタイルに貫かれており、その姿勢は高く評価するものですが、特に社会教育の場合には対象の範囲が広くその結果についても反応が分かれるためか点検・評価そして今後の課題・方向性の表現自体に苦慮している様子も見受けられます。

また、まだ3回目です不慣れという面もありましょうが点検・評価や課題・方向性の箇所ですら具体性の面からやや物足りなく思う部分もあります。

しかし、一般企業でも一朝一夕にこのP-D-C-A手法を確立することは非常に難しいことは事実で、問題は反復継続にかかっているといえます。例えば、点検・評価の部分では一般論のような表現は止めて5段階評価ぐらいの自己査定を行い、そこで「何故うまくいったのか」「何故うまくいかなかったのか」「うまくいったけどこんな問題が見えてきた」などの具体的な課題を整理し、課題・方向性の部分ではうまくいった点はさらに伸ばす工夫を、そうでなかったところは「どのように」その問題点を解決するかを考えていくことが重要であり、この積み重ねがやがては改めて事業の目的・内容を問い直すという大きな成果を生むものと思います。

どのような組織でもP-D-C-Aのサイクルが上手に回らないところは、いずれ陳腐化、衰退していくものです。今後とも着実な事業実施と冷静な評価判断を重ねて金沢の市勢発展の原動力である「ひとづくり」の充実発展を図られることを期待します。

平成21年度金沢市教育委員会の活動状況

〔1〕教育委員

平成21年4月～平成22年3月

職名	氏名	任期	職業
委員長	佐藤 秀紀	H17.10.3～H21.10.2 H21.10.3～H25.10.2	大学名誉教授
委員長職務代理者	前川 信政	H20.4.1～H24.3.31	医療法人社団理事長
委員	柳下 道子	H19.1.1～H22.12.31	社会福祉法人理事長
委員	早川 芳子	H19.10.2～H23.10.1	会議通訳・翻訳者
委員	米井 裕一	H20.4.1～H24.3.31	会社社長
委員	岡 能久	H20.10.1～H24.9.30	会社社長
委員(教育長)	浅香 久美子	H20.10.1～H24.9.30	(教育長)

〔2〕教育委員会議の実施概要(平成21年度)

1.開催回数

定例会議：12回(原則として毎月第3水曜日)

臨時会議：4回(随時)

2.付議案件(平成21年4月～平成22年3月)

区分	内容	件数
議案	規則等に関する事	4
	議会の議決を経るべき議案に関する事	4
	人事に関する事	7
	教科用図書採択に関する事	6
	文化財の保護に関する事	5
	委員の委嘱等に関する事	7
	教職員研修に関する事	1
	その他	4
	計	38
報告		25
その他		63

3.審議の概要

教育委員会議の議案書及び会議録(非公開案件を除く)の全文を、金沢市のホームページで公開。

* 非公開案件：地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項ただし書(人事に関する事件その他の事件について、委員長又は委員の発議により、出席委員の三分の二以上の多数で議決したとき)に基づき非公開とされた案件

〔 3 〕 教育委員の活動

1 . 学校訪問 (総合訪問)

(1) 目的

総合的な観点から学校の運営状況について、学校評価に基づく学校の課題と改善状況及び学校教育金沢モデルを中心とした「金沢子どもを育む行動計画」の実施状況の把握を目的としている。

(2) 概要

教育委員のほか、事務局の各課職員がそろって訪問し、教育活動の取組状況や学校運営全般について状況を把握するとともに、教職員との意見交換の時間を持ち、指導・助言等を行うもので、3年間ですべての学校の訪問を行うサイクルを平成17年度から実施している。

(3) 総合訪問における教育委員の訪問内容

- ・ 校長、教育委員会事務局からの学校の概要説明
- ・ 授業参観
- ・ 全教職員との意見交換

(4) 平成21年度の総合訪問実施状況

小学校	20校
中学校	12校
教育委員の延べ訪問者数	100人
意見交換を行った教職員数	913人(小学校496人、中学校417人)

2 . 行政視察・調査

日 時：平成21年11月11日(水)～12日(木)

視察先及び調査内容：

東京都三鷹市立南浦小学校(ICT活用授業視察・見学)

東京都三鷹市教育センター(ICT整備・活用

及び連携型小中一貫教育の意見交換)

東京都品川区立八潮学園(施設一体型小中一貫教育の意見交換)

ICT(Information and Communication Technology)は、学校教育に用いられる語で、ITと同義語

3. その他

教育委員連絡会等の開催

- ・ 各課の重点事項等についての意見交換
 - ・ 総合訪問についての指導主事との意見交換
 - ・ 「学校教育金沢モデル」実践研修拠点形成事業についての懇談会 等
- 市立工業高等学校全日制教員採用候補者の選考
市立小中学校管理職（校長・教頭）候補者内申のための選考
金沢市、金沢市教育委員会、各学校主催行事への参加
- ・ 教育施設の竣工式等
 - ・ 各種表彰式等
 - ・ 小学校、中学校卒業式等
- 全国、東海北陸地区、石川県教育委員会連合会の関係行事、研究大会、研修会への参加
- 全国都市教育長協議会、中核市教育長連絡会、東海北陸都市教育長協議会、石川縣市町教育長会の総会、協議会、研究大会、研修会への参加

〔4〕教育委員会議及び教育委員の活動についての点検・評価

1．教育委員会議について

（1）開催状況

毎月1回、第3水曜日を原則として開催する定例会議と必要に応じて開催する臨時会議を合わせて16回開催した。審議が必要な事項については漏れなく行われており、会議の回数についても、過不足はなかったものと考えている。また、会議の開催に当たっては、会議開催日の3日前までに議案書や資料等の送付を受け、事前に内容についての検討などの準備を行うことによって、各委員ともそれぞれの立場や考え方に立ち、高い関心と問題意識を持って積極的に発言を行い、充実した審議を行うことができた。

（2）会議録の公開

会議は、人事に関することや教育委員会に決定権のない案件、個人情報を含む案件など一部の非公開案件を除き、すべて公開で行うとともに、会議終了後、議案書及び関係資料並びに会議録について、すべて教育委員会のホームページにおいて公開を行うなど、積極的な情報提供に努め、広く市民に開かれた教育委員会の実現に取り組んだ。

2．教育委員の活動状況について

（1）学校訪問（総合訪問）

全学校数の約1/3に当たる小中学校合わせて32校において実施し、教育委員の訪問も延べ100人と前年度（前年度延べ71人）より多く、さらに充実したものとなった。学校の教育活動の実施状況に加え、学校の運営方針、施設、教育環境、各教員の授業などを参観するとともに、すべての教職員と一堂に会し意見交換を行い、様々な視点から教育現場の状況の把握に努めた。また、教育委員の識見を生かした指導・助言を行うとともに、教育現場が抱える課題の把握や要望等を直に聴取し、その内容を教育施策の充実に反映することができたと評価している。

（2）行政視察・調査等

他都市の取り組みを今後の教育施策立案の参考とするため、類似都市の視察・調査を行ったほか、市立工業高等学校における全日制教員採用候補者の選考、市立小中学校における管理職候補者内申のための選考に参加した。また、金沢市、金沢市教育委員会、各学校主催行事にも積極的に参加し、幅広い教育関係者と意見を交わすなど本市教育施策の充実に向けた取り組みを行ってきた。加えて、石川県教育委員会連合会や全国、中核市、東海北陸地区の教育長会等の会議や研究大会、研修会にも参加し、他都市との情報交換を行うとともに、教育委員としての自己研鑽にも努めた。

3.まとめ

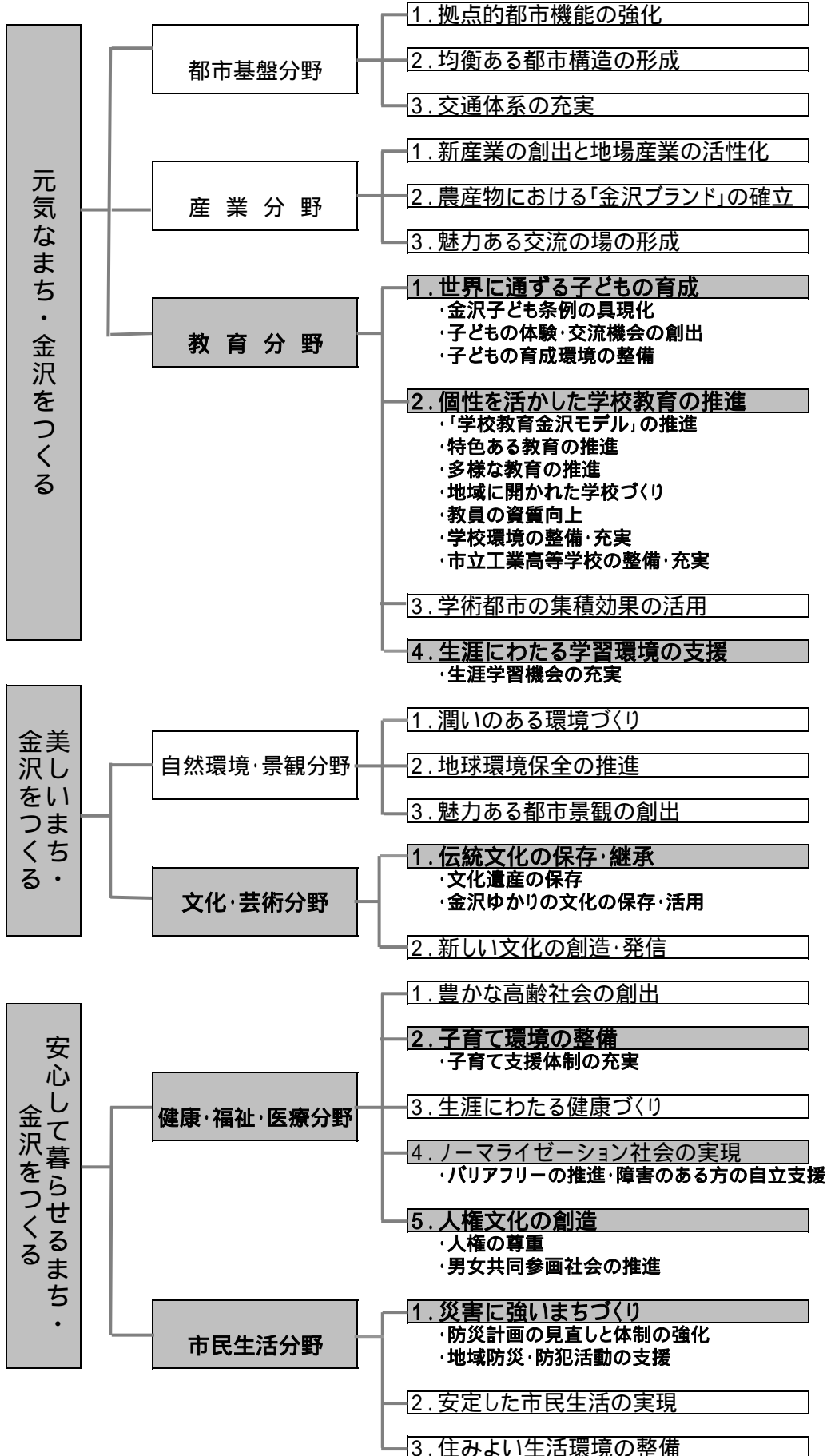
以上のように、平成21年度の教育委員会並びに教育委員の活動については、学校訪問（総合訪問）の充実を図るとともに、積極的に事務局や指導主事との意見交換も行うことができたと評価している。

今後、さらに幅広く教育関係者等との意見交換の場を持つなど、取り組みの充実に努めていきたい。

金沢世界都市構想 第2次基本計画における教育委員会施策

■ 教育委員会所管事業あり

世界都市金沢の実現



平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 世界に通ずる子どもの育成
基本施策	金沢子ども条例の具現化

【金沢子どもを育む行動計画の推進】

金沢子どもを育む行動計画(第二次)の推進	
事業内容	「金沢子ども条例」の理念を具現化するためのアクションプランである「金沢子どもを育む行動計画」の第2次計画を平成19年度に策定し、それに基づく子どもを取り巻く社会環境の変化に対応するための、新しいアクションプランを推進する。
実績等	家庭・地域・企業・学校・行政等の有識者からなる「金沢子どもを育む行動推進委員会」全体会を10月7日に開催。「金沢子どもを育む行動計画」(第2次)の概要を説明し、関係団体の取り組み状況の意見交換を行った。
点検・評価	「金沢子どもを育む行動推進委員会」において、活発な意見交換がなされ、今後も家庭・地域・企業・学校・行政等のそれぞれが連携を深めながら、主体的に取り組んでいくことを確認した。
今後の課題・方向性	「社会全体で子どもを育成しよう」という意識を今まで以上に向上させ、家庭・地域・企業・学校・行政間における連携と、各組織における認識・連携を充実させ、一層の行動計画の推進を図る。
「金沢子ども週間」の普及・促進	
事業内容	毎年10月の第2日曜日からその次の土曜日までを「金沢子ども週間」とし、家庭や地域などにおける大人と子どものふれあいを通して、子どもを育てる大人の役割の大切さを認識する週間として位置づけていることから、この普及・啓発のために事業を展開。
実績等	・金沢子ども週間フェスティバルの開催...地域、学校からの催し物を一堂開催し、親子がふれあう場を創出。 10月12日金沢市市民芸術村にて開催。参加者数約11,000人 ・子どもを育む金沢フォーラムの開催 10月11日に教育プラザ富樫にて開催。参加者数120人
点検・評価	児童館フェスティバルを同時開催していることもあり、参加者が多く「金沢子ども週間」の普及・啓発につながった。
今後の課題・方向性	企業参画の検討、フェスティバル形式の必要性があり、今後とも金沢子ども週間の趣旨を普及・啓発していくため、現状の課題点を整理の上、内容や運営形態等を見直していく。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 世界に通ずる子どもの育成
基本施策	子どもの体験・交流機会の創出

【子どもの様々な体験・交流の推進】

ジュニアかなざわ検定開催費	
事業内容	小学校4年生から中学校3年生までを対象とし、楽しみながら金沢について学び、ふるさとについての知識の習熟度を高める検定を年1回実施。
実績等	8月25日に市内小中学校等を会場に開催。 受検者2,004人(その他保護者10人)
点検・評価	受検者数は対前年度比で約135% 前年度以上に、子どもたちが金沢を学び、習熟度を高めることができた。
今後の課題・方向性	引き続き、子どもたちの金沢を知る意欲を引き出すために、検定の定着を図るべく市内小中学校への周知に努めていく。
「立志のつどい」支援	
事業内容	14歳の少年少女に、社会人としての自覚を促すことを目的とし、各地域で行われる「立志のつどい」に出席する子どもたちを激励し、記念品を贈呈する。
実績等	4,136人に記念品を配布。
点検・評価	平成21年度は全対象者への記念品配布を行うことができ、子どもたちに成長したことを自覚させることにつながった。
今後の課題・方向性	式典については未開催の地域もあり、将来的に全地域での開催を目指しながら対象生徒の意識啓発を図っていく必要がある。
国内への派遣研修の実施(金沢少年の翼)	
事業内容	国外への派遣研修の支援(石川少年の翼):石川県事業への負担金 国内外の青少年の受入(国内国際受入)
実績等	金沢少年の翼:北海道への派遣(5泊6日)参加者数70人 国内国際受入:受入実績なし 石川少年の翼:韓国・中国への派遣 参加者数10人
点検・評価	「金沢少年の翼」については、派遣地の雄大な大自然や、歴史・産業、また現地の人々との交流により、次代を担う子どもたちの感性や徳性の涵養に寄与している。
今後の課題・方向性	国内国際受入についても啓発していく必要がある。
体験活動情報誌「みまっ誌」の発行	
事業内容	生涯学習に関わる講座・催事・遊びや学びに関するイベント情報、自然体験活動・社会体験活動などの情報を掲載した生涯学習情報誌を発行・配布
実績等	年4回発行 47,000部/回
点検・評価	子どもと一緒に大人も参加できるイベントを手軽に探すことが出来るものとして好評を博している。
今後の課題・方向性	掲載希望の事業が増加傾向にあるが、的確に情報を取捨選択し、今後とも誌面の充実を図り発行していく。

キゴ山少年自然の家、土子原こども野外広場、娉杉少年の森の運営	
事業内容	自然観察、レクリエーション、少年団体の指導者の研修施設として各施設を運営する。
実績等	少年自然の家 利用者数:11,493人、主催事業数:3事業、同参加者数:269人 土子原こども野外広場 利用団体:37団体、利用者:延べ2,354人 娉杉少年の森 利用団体:43団体、利用者:延べ2,804人
点検・評価	前年度よりも、利用団体数が増加していることから、より多くの指導者に研修施設として活用された。
今後の課題・方向性	各施設にて、利用客の増加を目指して様々な取り組みをしているところであり、引き続き適切な施設の維持管理を図るとともに、さらに魅力的な事業の実施に努めていく。
子ども里山里海交流事業「いのちの教室」開催(平成21年度新規事業)	
事業内容	異なる地域・年齢の子どもたちが、多様な「生」が共存する「里山」「里海」というフィールドの四季を活用し、ともに考え、学びながら活動していくことをとおし、「命の大切さ」や「生きる」ということを学ぶ。
実績等	公募30名程度(小4～小6)年5回 延べ参加者数 91人
点検・評価	子どもの野外活動体験は重要であるが、参加者が少ない。
今後の課題・方向性	参加した子どもたちにとっては「命」を学ぶ貴重な機会となった。しかし、参加者が少ないなど事業効率が低いため、内容の見直しに努める。
教育プラザ富樫での活動	
事業内容	子ども同士・あるいは親子がふれあう交流の場を提供。(わいわいバザール) 小中学生に対する情報提供の支援。(子ども情報室) 先人達の知恵や技術を子ども達へ伝承(シニアマイスター等各種講座)
実績等	平成21年度児童利用者数 5,092名(子ども情報室) 子ども情報支援室にパソコン4台を設置し、子どもたちが自由にインターネット情報を検索できる場を提供。 毎月第3日曜日にボランティア団体による「わいわいバザール」を開催。 「将棋子ども教室」「着物子ども教室」「親子で学ぶ心の花教室」の3講座を開催。
点検・評価	親子で楽しめる「わいわいバザール」は大好評でグループ間の交流にも役立っている。各講座については日本の伝統文化を学ぶだけではなく礼儀作法を学ぶ貴重な機会にもなっており、一部では定員を大きく上回る応募がある。
今後の課題・方向性	引き続き魅力的な講座等の実施に努める。

【子どもの理科学体験の推進】

(財)金沢子ども科学財団の運営	
事業内容	様々な教育事業や普及啓発等を通じ、児童生徒の課外における科学的な活動などを支援するとともに科学に対する知的好奇心や独創的で柔軟な発想を育む。
実績等	小学校児童科学教室 年18回開催 登録人数186人(5,6年生) 中学校サイエンスクラブ 年10回開催 登録人数37人 幼児出前科学教室 年30回 参加者延べ1,049人 算数・数学チャレンジクラブ 年12回開催 登録人数112人 広坂子ども科学スタジオ事業 年51回開催 参加者延べ 3,951人
点検・評価	事業の参加者も増加しており、創造力、科学への興味を喚かさせている。
今後の課題・方向性	事業では、創造力の育成、科学への興味を喚かさせ、その後の継続的な科学への関心に繋がることから、今後も科学分野の裾野を広げ、関係機関とも連携し、事業の充実を図っていく。
少年少女発明クラブへの支援	
事業内容	市内小学生(5,6年)希望者を対象に、課題工作・アイデア工作などの創作活動を行う「少年少女発明クラブ」((社)発明協会石川県支部主催)の運営に対し交付金を交付する。
実績等	課題工作、アイデア工作等の創作活動と作品の成果発表会、発明くふう展への出品と見学、「ものづくりコンテスト」の開催等を実施。総参加数940人
点検・評価	子どもたちの理科離れが指摘される中、小学生に科学技術的な創作の楽しさを体験させる機会を提供している。
今後の課題・方向性	参加者数増加のためさらなる工夫が必要と思われるが、事業としては今後も継続していく。
金沢市発明奨励賞の授与	
事業内容	「石川県発明くふう展」において、優秀な成績を収めた学校に対し、金沢市発明奨励賞を授与する。
実績等	受賞校 南小立野小学校、西南部小学校
点検・評価	科学作品の制作等に積極的に取り組む学校を報奨することは、本市における発明奨励、科学技術の振興に寄与している。
今後の課題・方向性	発明奨励、科学技術の振興の観点から今後も引き続き継続する。
キゴ山天体観察センターの運営	
事業内容	施設の運営・事業の開催を通じて宇宙についての理解を深め、創造性豊かな子どもの育成を図る。
実績等	利用者数:9,745人 主催事業(キゴ山宇宙塾、ジュニア宇宙塾、親子でスターウォッチング等)参加者1,488人
点検・評価	主催事業では、前年度を大きく上回る参加者数であった。次世代を担う子どもたちが、宇宙を身近に感じることができ、子どもの健全な育成につながった。
今後の課題・方向性	今後とも科学の裾野を広げる事業を進めるとともに、さらに事業の充実を図る。

【子どもの読書活動の推進】

子どもの読書活動の推進	
事業内容	家庭、地域、企業、学校、行政の各方面において、子どもの読書環境の整備や読書活動推進に積極的に取り組むため、平成21年3月に「金沢子ども読書推進プラン21(第二次)」を策定し、その具現化を図る。 (計画期間...平成21年度～25年度)
実績等	・子ども読書活動推進会議の開催(2回) ・プラン162件の取り組み状況に対する自己評価の実施 評価結果...A(とても良くできた)及びB(概ねできた)の割合71%
点検・評価	各取り組みについて着手した段階であるが、自己評価によると「できた」と回答する割合が7割以上あり、各方面で積極的に取り組んでいる。なお、未着手の取り組みもあるため、さらに積極的に推進していきたい。
今後の課題・方向性	今後も自己評価を継続し、各取り組みの進捗を把握するとともに、各方面において情報を共有し、金沢子ども読書推進プラン21を計画的に実現していきたい。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 世界に通ずる子どもの育成
基本施策	子どもの育成環境の整備

【地域のリーダー、指導者の育成】

かなざわユースリーダー創生塾	
事業内容	仲間づくりや体験活動を通じ、若手リーダー育成のため、知識・技能を修得する。
実績等	活動回数 7回、参加者数 66人
点検・評価	21年度から選択制・実践形式の内容として以来、参加者数が増加した。
今後の課題・方向性	今後もこの方針(選択制・実践形式内容)を継続して実施し、若手リーダーの育成に努める。

リーダー交流事業	
事業内容	各団体同士の交流を通じて、情報交換、企画・運営をする機会をつくることにより各団体のリーダーの資質の向上を図る。
実績等	宿泊研修会1回 参加者数:17人
点検・評価	前年度よりも若干、参加数が減少し、情報交換の機会も減少した。
今後の課題・方向性	養成したリーダーの地域活動の状況を検証し、積極的に活躍の場を発掘するようにつなげていく。さらに各団体リーダーの資質向上にむけて、よりよい事業内容へと改善を図る必要がある。

地域リーダー活性化事業	
事業内容	青少年育成団体関係者等と行政が、子どもの育成について課題を共有し、相互理解・連携を深める。
実績等	各団体の課題等に対応できる講師を派遣して出前講座を実施。 出前講座5回 参加者数:125人
点検・評価	出前講座の回数増により、参加者数が増加し、相互理解・連携を深めることができた。
今後の課題・方向性	新・生涯学習推進計画に掲げた市民の主体的な学習を推進するためにも、市の役割は講師の紹介等による支援にとどめることとし、22年度事業終了とする。

中高年齢者子どもサポーター育成事業	
事業内容	団塊世代をはじめ地域の人材が持つ様々なノウハウを、現代の子どもたちの姿を知るとともに、趣味や特技を通じて輝いている自分を再発見することにより、地域の中で子どもを育むために何ができるかを考えながら、指導者としての資質を高める。
実績等	地域活動に携わる中高年層 年6回 延べ参加者数 119人
点検・評価	平成21年度新規事業。 多才な講師陣により子どもたちの様々な側面を参加者は知ることができた。
今後の課題・方向性	参加者の指導力向上や地域での活動につなげていく等、さらによりよい事業内容へと改善を図る必要がある。

【地域のネットワークの構築・拡充】

子どもを育てる地域ネットワーク事業	
事業内容	各地域が作成した行動計画を具現化し、子どもが健やかに生活できる生活環境を構築する。(1地区 3カ年連続が原則)
実績等	地域行動計画の具現化 2地区 1年目...0地区、2年目...1地区、3年目...1地区
点検・評価	2地区とも「子どもを育てる地域プランづくり推進事業」にて策定した計画を滞りなく遂行できた。
今後の課題・方向性	3年目の地区が終了する21年度にて事業終了。

青少年地域活動ステップアップ事業	
事業内容	ネットワーク事業の延長を希望する地域の活動団体に対し、子どもを対象とした体験活動、子どもに関わる大人の意識啓発活動、子どもの遊び場づくり、大人と子どもの交流事業などの実施を委託する。
実績等	21年度:1地区実施 (16年度から事業開始)
点検・評価	活発的かつ地域の特色に富んだ活動内容が多く見られ、青少年の健全育成と地域を愛する心を育ませることに大きく寄与した。
今後の課題・方向性	「子どもを育てる地域ネットワーク事業」の延長事業と位置づけ、推進に努めてきたが一定の事業効果が得られたため、21年度にて事業終了。

子ども仲間づくり推進費	
事業内容	地域における子どもを中心とした活動に要する費用について助成する。
実績等	60団体に活動補助金を交付。
点検・評価	子ども会活動に関しては、ほぼ全市校区の子ども会において事業が取り組まれている。
今後の課題・方向性	今後とも、地域の子どもの中心の活動を支援していくとともに、効果を検証しながら地域が有効利用できるような施策として展開していく。
地域ぐるみの学校支援事業	
事業内容	地域全体で子どもたちを見守り育成していく学校での枠組みづくりを支援する。
実績等	高岡中学校、高尾台中学校、長田中学校、西南部中学校、額中学校に学校支援地域本部を設置した。
点検・評価	前年度よりも3地域増え、事業の充実化につながり、学校を支援することができた。
今後の課題・方向性	当該事業は、文部科学省による平成22年度までの委託事業である。事業効果を検証しながら、委託期間終了後における本市独自の施策について検討していく。

【青少年の健全育成推進】

地域健全育成活動への支援	
事業内容	子どもたちが安心して心身ともに健康に暮らせる地域づくりのため、また地域住民の青少年健全育成意識を啓発するために下記事業を実施する対象団体に補助金を交付。 ・地域住民の青少年健全育成活動の意識啓発活動、青少年非行防止活動、有害環境の浄化活動、青少年健全育成の広報活動
実績等	平成21年度 52団体に計2,980千円を交付した。 各地区平均12回程度の活動を行なった。
点検・評価	各地区ごとにそれぞれの地域に即した特色ある青少年健全育成活動を展開している。
今後の課題・方向性	今後も青少年の非行防止や地域住民の青少年健全育成意識の啓発・向上のため、支援を継続して実施。

地域健全育成活動団体の連携促進	
事業内容	地域の青少年健全育成推進団体の相互の情報交換や合同での研修会の実施を通じて、各々の地域での健全育成活動の取り組みの方向性、合同での事業の実施等についての調査と研究を行い、健全育成推進活動の効果をより高める。下記活動内容を実施する金沢市青少年健全育成協議会(各地域青少年健全育成推進団体61団体で構成)に交付金を交付。 ・各ブロック会議の開催(情報交換、研修)、全体研修会の開催、金沢市青少年健全育成推進大会の開催、警察等関係機関と街頭キャンペーンを実施。
実績等	平成21年度 全体研修会を実施したほか各ブロック会議が開催された。警察本部と合同で非行防止のための一斉街頭キャンペーンを実施。 市内酒類、たばこ販売店へ販売時の年齢確認徹底の協力依頼を実施。
点検・評価	キャンペーンを通じて非行防止及び青少年の健全育成に関する啓発活動ができた。年齢確認徹底の協力依頼を実施し、未成年の飲酒喫煙防止を諮った。
今後の課題・方向性	今後も青少年健全育成団体の相互の連携を推進し、全市的な活動の活性化につながるよう支援を継続して実施。
地域子ども指導員による巡回等	
事業内容	地域における青少年健全育成推進団体から推薦された方約500名を「地域こども指導員」に委嘱し、各地域の街頭での声かけや巡回により、非行防止に努め、有害環境の浄化を推進する。 ・各地区の街頭での声かけや巡回、市少年補導部門との合同研修会、巡回強化地区への市補導部門補導員との合同補導活動
実績等	平成19年度より名称を「子ども安全指導員」から「地域子ども指導員」に変更し、役割・性格の明確化を図るとともに、任期を2年とし資質の向上を図った。(3年目)
点検・評価	全体で465名が各地区で地域子ども指導員として非行防止活動と有害環境浄化活動を展開している。
今後の課題・方向性	今後も青少年の非行防止、有害環境浄化の推進にむけ継続的に活動の活性化につながるよう支援を実施。
金沢市児童生徒「思いやりの心」活動奨励賞(平成21年度新規事業)	
事業内容	「絆」教育の一環として、本市における児童生徒の思いやりの心を持って行った活動を奨励するため、優れた活動を行った学校及び児童生徒のグループを表彰する。
実績等	学校賞 7校(小学校5校 中学校2校) グループ賞 5校(小学校3校 中学校2校)
点検・評価	この表彰により、受賞した学校及びグループの活動内容が市内小中全学校に周知。優れた学校の教育的活動を情報共有することが出来た。
今後の課題・方向性	優れた学校の教育的活動を市内の小中学校や市民へ情報発信するために、または奨励するために、この表彰を継続していく。

【児童生徒への様々な顕彰】

豊かな心を育てる活動	
事業内容	児童生徒の善行について顕彰するとともに、意識啓発の機会とする。
実績等	小さな親切実践者表彰 798人(11月15日 於:いしかわ子ども交流センター)、善行児童・生徒表彰 29人(2月12日 於:駅西健康ホール)
点検・評価	小さな親切実践者表彰では、前年度より35%増加した。顕彰制度は児童生徒の大きな励みとなり、意欲向上を促す上で大変重要な制度である。
今後の課題・方向性	個人のみならず団体の分野でも今後取り組みが出てくるように支援していきたい。
岡文化賞	
事業内容	中学生における文化活動に優れた文化部、生徒を表彰する。
実績等	第30回岡文化賞授与式 (H21.12.19) 金沢市文化ホール 受賞者 団体部門4校、個人部門6人、記念特別賞2校
点検・評価	本賞は、賞の設立の際、資金提供いただいた方の意志やこれまでの歴史もあり、中学生や中学校にとっても誇り高さ賞である。
今後の課題・方向性	各分野や活動の振興を図るとともに、人材育成を図るためにも今後とも継続する。
宮村英語奨励賞	
事業内容	中学生における英語学習・英語活動に優れた生徒を表彰する。
実績等	受賞者20人、授与式 H21.10.17 金沢市文化ホール
点検・評価	本賞は、賞の設立の際、資金提供いただいた方の意志やこれまでの歴史もあり、中学生や中学校にとっても誇り高さ賞である。
今後の課題・方向性	各分野や活動の振興を図るとともに、人材育成を図るためにも今後とも継続する。
高峰賞	
事業内容	理科学研究に優れた中学生を表彰する高峰譲吉博士顕彰会に対する補助金を交付する。
実績等	受賞者 12人、授与式 H21.11.21 金沢市文化ホール
点検・評価	本賞は、賞の設立の際、資金提供いただいた方の意志やこれまでの歴史もあり、中学生や中学校にとっても誇り高さ賞である。
今後の課題・方向性	各分野や活動の振興を図るとともに、人材育成を図るためにも今後とも継続する。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	「学校教育金沢モデル」の推進

【2学期制を活かしたきめ細やかな指導評価】

「学習到達度連絡表」等の作成	
事業内容	保護者や児童生徒に学習の様子や成果、進歩の状況を適切に伝える。
実績等	83校、36,678人
点検・評価	各学校で学習到達度連絡表等を作成し、保護者や児童生徒に学習の様子や成果、進歩の状況を適切に伝えることで、きめ細やかな指導・連絡を図った。
今後の課題・方向性	今後ともきめ細やかな指導・連絡を図るためにも継続する。
サマースクールの実施	
事業内容	夏期休業期間にも、児童生徒が学習意欲を継続し、有意義な生活を送ることができるよう、各学校で補充・発展学習や体験活動等を実施。
実績等	開催校 84校(芳斉分校を含む)
点検・評価	長期休業期間の活用を創意工夫しながら授業時間の確保を図っており、子どもたちの学習意欲の喚起・確かな学力の育成に寄与している。
今後の課題・方向性	各学校が創意工夫しながら授業時間の確保を図るためには有効であり、今後とも継続する。
スクールフォーラム21の開催	
事業内容	教職員と保護者、地域住民がともに学校づくりに取り組むための話し合いをすべての小中学校で実施。
実績等	開催校 84校(芳斉分校を含む)
点検・評価	学校・家庭・地域が一体となって、より良い学校づくりや子どもの健全育成を進めていく上では不可欠な事業である。
今後の課題・方向性	開催時期や方法等、地域の実情に応じて工夫しながら、今後も継続していく。
スクールモニター制の実施	
事業内容	学校外の子どもの様子等を学校に報告する地域ボランティアを配置
実績等	80校(小中併設校は1校と算出)で実施
点検・評価	地域の協力を得て子どもの健全育成に取り組むことができたほか、地域に開かれた学校づくりにもつながっており、有効な事業であると考えている。
今後の課題・方向性	今後も継続して実施する。
全市一斉「学校公開週間」の実施	
事業内容	気軽に保護者や地域住民が学校や子どもたちの様子を参観する場の提供
実績等	6月1日～4日 市内59小学校1分校、24中学校、市立工業高等学校で実施
点検・評価	保護者や地域住民の学校に対する関心を高める上で有効な事業であり、開かれた学校づくりを進める上でも必要な事業である。
今後の課題・方向性	開催時期や周知方法を工夫する等、参加者増のための検討を行いながら、今後も継続して実施する。

【学習指導基準金沢スタンダードの実践】

学力調査の実施	
事業内容	学習指導要領で求められている資質や能力の定着状況の把握を目的とし、 中学3年を対象に市独自の統一テストを実施。
実績等	11月と1月の2回
点検・評価	学習内容の定着状況を検証・確認することは、今後の指導に生かすためにも 必要不可欠な事業である。
今後の課題・方向性	今後とも継続して実施する。
算数科副読本改訂版の配布	
事業内容	学習指導基準金沢スタンダードの改訂に伴い、算数副読本を改訂し、小学校 3年～6年生に配布。
実績等	小学校3年～6年生に配布したほか、指導資料を配信した。
点検・評価	全国学力・学習状況調査において金沢の児童の学力は全国に対し、良好である ことが明らかとなっており、金沢スタンダードの定着による結果と評価している。
今後の課題・方向性	今後とも金沢スタンダードの充実に向けて継続する。
小学校社会科副読本「のびゆく金沢」配布	
事業内容	地域学習に必要な社会科副読本を市内小学校3年生に配布。
実績等	「のびゆく金沢」22年度版 4,700部、「華やか金沢」 5,600部配布
点検・評価	全国学力・学習状況調査において金沢の児童の学力は全国に対し、良好である ことが明らかとなっており、金沢スタンダードの定着による結果と評価している。
今後の課題・方向性	今後とも金沢スタンダードの充実に向けて継続する。

【「国語力」の向上】

語彙力かなざわ検定	
事業内容	児童生徒の語彙力を測定・評価する市独自の検定試験を実施
実績等	1級認定通過率(再検定含む) 小5年 97% (H20 98%) 中2年 85% (H20 61%)
点検・評価	検定を行うことで、国語力向上の取組が各学校で積極的に実施されており、 児童生徒の学力向上や学習意欲の喚起を図る上で有効な施策である。
今後の課題・方向性	検定問題の内容・構成等の工夫を重ねながら、今後も継続して実施する。
創作文コンクール	
事業内容	創作する楽しさを味わわせ、表現力の向上を図ることを目的に、児童生徒から 作文・詩等を募集し、優秀作品を表彰する。
実績等	応募者数 1,214人 (H20 988人)
点検・評価	応募者数・応募作品数は年々増加しており、児童生徒の創作意欲を高める ことに寄与している。
今後の課題・方向性	対象学年や部門について工夫を重ねながら、今後も継続して実施する。

【小中一貫英語教育の充実】

小学校英語教育	
事業内容	3～6年生の教育課程に「英語科」を開設、指導講師等を配置し、担任とチームティーチングを実施。3年生から市で作成した副読本を主たる教材として使用し、6年生には中1の教科書を給与し授業で活用。児童英検及びアンケートを実施
実績等	正答率8割以上の児童の割合 59.7% (H20 66.7%) 英語教育専門員(EEC) 1人配置 英語インストラクター 38人配置 英語指導講師12人配置
点検・評価	児童英検の正答率も例年高い水準で推移している等、一定の成果も見られ、世界都市金沢を担う人材育成のためにも必要な事業である。
今後の課題・方向性	国の特区認定により、全国に先駆けて実施してきたが、新学習指導要領の改訂全面実施(H23～)により、本市の事業方針の検討が必要。
中学校英語教育	
事業内容	年間140時間の英語教育を実施。教科書と市独自の副読本を活用。 3年生には英語能力判定テストを実施。 英語教育先進都市の中国大連市への派遣研修を実施。
実績等	英検3級程度の生徒の割合 42.5% (H20 40.8%) 外国語指導助手 海外派遣研修 指導主事、校長、教諭5名派遣 外国語指導助手(ALT)13人配置
点検・評価	中学校3年生の英検3級以上取得率が全国を大きく上回る等の成果も見られ、世界都市金沢を担う人材育成のためにも必要な事業である。
今後の課題・方向性	国の特区認定により、全国に先駆けて実施してきたが、新学習指導要領の改訂全面実施(H24～)により、本市の事業方針の検討が必要。

【それぞれの子どもに応じた授業の充実】

へき地・複式学級に対する交流学习の実施	
事業内容	教科交流学习や交流行事の実施。南砺市との交流
実績等	複式学級を有する小学校7校を対象に年間6回の交流活動を実施。 南砺市との交流は、医王山小が福光西部小を訪ねた。
点検・評価	複式校は、少人数のため社会性・協調性や競争心が育ちにくいいため、交流学习や行事を通じてこうした気持ちを育むことは有効である。
今後の課題・方向性	今後も継続して実施する。
へき地複式教育研究会の実施	
事業内容	へき地複式校に所属する8校の職員が研修会を持ち、へき地複式教育の推進を図る。
実績等	年間4回実施
点検・評価	複式校は、少人数のため社会性・協調性や競争心が育ちにくいいため、こうした子どもたちをどのように指導していくか研究することは有効である。
今後の課題・方向性	子どもたちをどのように指導していくか研究することは有効であり、今後とも継続する。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	特色ある教育の推進

【学校の自主性・自立性の向上】

学校総合訪問	
事業内容	学校の教育水準の維持向上を図るとともに、校長のリーダーシップの下、自主性自立性ある学校運営に資するため、教育委員、事務局職員が学校を訪問する。授業の様子や児童生徒の状況を確認するとともに、教育課程の状況等学校教育全般にわたり指導助言し、同時に教職員との意見交換を通じて学校の課題解決を図り、特色ある学校づくりの一層の推進を図る。
実績等	金沢市立小中学校31校に訪問。
点検・評価	地方分権や校長の裁量権拡大など、主体的自立的に学校運営や充実した教育実践を行うことができる学校づくりを進めていくためには必要である。
今後の課題・方向性	市全体の学校教育の質を高めていく上でも継続的に取り組む。
実践研修拠点校について	
事業内容	学校教育金沢モデルを充実するため、実践的な研修拠点としての体制づくりを行うとともに、学校マネジメント能力の向上を図る。
実績等	中学校 2校、小学校3校実施
点検・評価	地方分権や校長の裁量権拡大など、主体的自立的に学校運営や充実した教育実践を行うことができる学校づくりを進めていくためには必要である。
今後の課題・方向性	H22年度で完了
教材・指導法提案者報奨	
事業内容	報奨制度により、学校独自の教材や指導法開発を促し、成果を全市で共有することで指導力等の向上を図る。
実績等	教材・指導法提案者報奨 9件
点検・評価	優れた教材や指導法をライブラリ化し、すべての教員が活用できるようにしており、教員の指導力向上に寄与している。
今後の課題・方向性	H21年度で廃止
活用力育成授業ビデオ発信事業	
事業内容	活用力育成に効果をあげていると認められる授業を撮影し、各学校で視聴する。
実績等	(新規) 小学校 2教科 中学校 2教科 (累計) 小学校 9教科 中学校 8教科
点検・評価	優れた授業をビデオ化し、すべての教員が視聴できるようにしており、教員の指導力向上に寄与している。
今後の課題・方向性	H21年度で廃止

【中学校学校選択制の実施】

中学校学校選択制	
事業内容	平成18年度の中学校新1年生から「中学校学校選択制(通学区域の弾力化)」を導入。児童・生徒や保護者の希望に応えるとともに特色ある(中)学校づくりを進め、家庭内での教育に対する関心を深める。 小学校6年生の11月に保護者・児童の希望中学校を確認し、通学区域外の中学校を希望する場合、その学校の受け入れ枠(概ね学校あたり40人程度)以内であれば全員、受け入れ枠を超える場合は抽選により中学校を決定するもの。
実績等	通学区域外中学校選択者数 平成21年度(平成22年4月入学者)...3,848名中297名(7.71%) 平成20年度(平成21年4月入学者)...3,960名中286名(7.22%)
点検・評価	通学区域外中学校選択者は対前年比0.49%増 希望者数が増加しており、制度として定着している。
今後の課題・方向性	児童・生徒や保護者の多様な希望に応え、子どもの可能性を伸ばし、本市学校教育の充実・発展のため今後も継続する。

【学校図書館の充実】

学校図書館環境整備事業	
事業内容	金沢市小中学校全校に学校図書ボランティア活動の理解と定着を推進し、地域活力を活かした学校図書館運営を行う。
実績等	学校図書館ボランティア活動校及び活動者数 小学校 58校1分校 926人 中学校 17校 143人
点検・評価	魅力ある学校図書館づくりのため、多くのボランティアの活用を図っている事業であり、有効かつ不可欠な事業である。
今後の課題・方向性	今後とも整備計画に基づき学校図書館のリニューアルを進める必要がある。
学校図書館コーディネート事業	
事業内容	児童生徒と本との関わりを深め、学校図書館の利活用を推進するため、学校図書館コーディネーターを配置
実績等	コーディネーター5人を委嘱し、全小中学校を巡回。
点検・評価	学校図書ボランティアや市立図書館との連携により、魅力ある学校図書館づくりを進めるために、必要な事業である。
今後の課題・方向性	今後も市立図書館との連携を深め、図書館の有効活用の推進に継続的に取り組む。
小中学校図書館図書の更新	
事業内容	各校が年度予算範囲内において、適正な蔵書構成・冊数になるように児童生徒用図書を購入する。各校司書教諭・図書担当者が中心となり購入図書を選書。
実績等	第6次学校図書整備計画に基づき、図書の増冊、古い図書の更新を行った。 小学校蔵書冊数 458,807冊 中学校蔵書冊数 242,517冊 文科省図書標準冊数充足率 小学校 86.5%(H20 83.4%) 中学校 82.2%(H20 80.5%)
点検・評価	魅力ある学校図書館づくりを進めるため、新しい図書の購入や古い図書の更新を進めることは必要不可欠である。
今後の課題・方向性	第6次学校図書整備計画に基づき、今後も継続する。

【体験キャリア教育の推進】

体験キャリア教育	
事業内容	中学生を対象に、正しい職業観・人生観を身につけ、自分の進路を主体的に考えるため、中学2年生を対象とした3日間の職場体験活動の実施。
実績等	全中学校2年生が参加
点検・評価	事後のアンケートからも、中学生が自分の進路や職業を考える上で貴重な機会となっており、学習意欲を喚起する上でも有効な事業である。
今後の課題・方向性	各事業所での中学生の受入について、地域の企業等との協力体制を強化する必要がある。

【文化教育の振興】

中学校文化連盟への支援	
事業内容	各文化部の活動・交流を支援するため、当該連盟が行う各中学校文化活動の運営事業に対し交付金を交付する。
実績等	部活動運営・指導の支援。「部活動の日」の各部の講習会・鑑賞会の開催 各部のコンクール、発表会の開催。H21年度交付金 2,100千円
点検・評価	学校間の部活動交流や発表会等によって、文化部活動の活性化にもつながっており、必要な事業である。
今後の課題・方向性	生徒及び指導者がお互いに刺激し合い、活動を充実できるよう、文化部活動の活性化を図る観点からも今後とも継続する。
中学校文化活動魅力創出事業	
事業内容	文化部活動外部指導者の派遣と部活動の成果発表の場の提供
実績等	部活動外部指導者指導 14校 延23人 182時間 中学生文化創造夢空間2009の開催 H21.11.8 文化ホール
点検・評価	全市的な成果発表の場を設けることで、生徒が目標を持って活動を行うことにつながっており、部活動の充実や意欲の向上において有効な事業である。
今後の課題・方向性	連携した文化活動推進を行ったことにより、生徒の活動意欲が上がったことから今後も継続する。
小中学校連合音楽会の開催	
事業内容	授業を中心とした学校での音楽の取組の発表の場として、音楽会を開催。
実績等	小学校 52校 10/27,28 金沢歌劇座 6校 12/1 県立音楽堂 中学校 13校 11/18 金沢歌劇座 小学校では、新型インフルエンザのため県立音楽堂で追加公演を実施
点検・評価	各学校は、この会を目標に取り組んでおり、大きな舞台での発表を体験できる貴重な機会となっている。
今後の課題・方向性	大きな舞台での発表を体験できる貴重な機会となっており、今後も継続する。

小中学校合同展の開催	
事業内容	市内の全小中学校合同による図工・美術・書写・華道の作品展を開催し、学校活動の発表の場を設ける。H16年度より、金沢21世紀美術館で実施。
実績等	開催期間 H22.1.6～1.17 入場者数 27,670人
点検・評価	8,000点を超える児童生徒の作品が出品され、入場者も非常に多く、児童生徒の制作意欲の向上に大きく寄与している。
今後の課題・方向性	能力の助長を図り、豊かな人間形成を目指すことから今後とも継続する。
小学校演劇鑑賞教室の開催	
事業内容	市内小学校5年生全員を対象として、演劇鑑賞教室を開催し、情操豊かな人間形成を目指す。
実績等	第37回小学校演劇鑑賞教室「フェアブル昆虫記 ～コガネムシの愛～」 公演回数6回5月12日～14日 会場 文化ホール 62校 児童数4,319人
点検・評価	プロの演劇を間近に鑑賞することは、情操豊かな人間形成を図る上で貴重な機会となっている。
今後の課題・方向性	情操豊かな人間形成を培うことができる有効な方法と考えており、今後も継続する。
中学校観能教室の開催	
事業内容	市内中学校3年生全員を対象に、伝統ある郷土芸能の鑑賞を通じて、日本の古典に親しませ、郷土愛や豊かな人間性を培うことを目的として、実施する。
実績等	第61回 能「殺生石」 狂言「柿山伏」7月8日～10日 県立能楽堂 参加校30校
点検・評価	伝統芸能を間近に鑑賞することは、情操豊かな人間形成を図る上で貴重な機会となっている。
今後の課題・方向性	情操豊かな人間形成を培う観点から今後も継続する。

【情報教育の推進】

小中学校情報化整備推進事業	
事業内容	文科省が指導するコンピュータ使用環境の整備(リースによる整備) セキュリティ機能強化のためにサーバーを設置し、全学校を接続する
実績等	小学校 4,015台 中学校 1,825台を整備 セキュリティサーバー等を10台整備し、小中学校38校に接続した。
点検・評価	順次機器の更新を行いながら新基準にあった配置をすることと、セキュリティの強化が必要不可欠である
今後の課題・方向性	今後とも整備計画に基づき配置し、セキュリティの体制も構築していく。

視聴覚・情報教育推進費	
事業内容	<p>教育プラザ富樫を拠点として、学習用教材(和楽器を含む)の貸出業務、情報教育教材、機材及び通信環境の整備を通じ、教職員の資質の向上、授業・保育等の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金沢市内小中学校等のインターネット通信網(edねっと金沢)の整備、保守、監視等 ・情報教育担当者会の開催、情報教育研修環境の整備 ・コンピューター研修室・教育情報支援室の運営、研修用貸出機材の整備、学習用教材の整備・保管・貸出・搬送 ・デジタル画像、動画等教材の制作
実績等	金沢市役所情報政策課内にセキュリティ機能強化のためのセキュリティサーバ等を9台整備し、小中学校24校に接続している。
点検・評価	サーバ機器を、情報政策課内に設置し管理することにより、セキュリティ強化が図られている。
今後の課題・方向性	教職員への情報モラル教育の一層の充実が求められる。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	多様な教育の推進

心の教育の推進	
事業内容	<p>・スクールカウンセラーの配置 いじめや不登校などの児童生徒問題行動や人間関係の悩みに対応し、学校における相談業務を行う。</p> <p>・心と学びの支援員の配置 保健室などの別室に登校する児童生徒の相談や学習の支援を行う。</p> <p>・技を学び心を育むチャレンジ教室 不登校生徒等に関心の高い分野の専門家講師を招聘し学ぶことで、学習意欲を喚起し、社会生活を送るために必要なマナーや知識を習得させる。</p>
実績等	<p>スクールカウンセラー配置 4校(小学校4)</p> <p>心と学びの支援員配置 26校(小学校5、中学校21)</p> <p>技を学び心を育むチャレンジ教室開催 10校</p>
点検・評価	いじめや不登校に限らず、児童生徒の様々な悩みや問題行動にきめ細かく対応していくためには、様々な支援人材の活用が必要となっている。
今後の課題・方向性	質・量ともに必要性の高い事業であり、スクールカウンセラーや支援員の活用、各種支援内容の充実について今後も推進していく。

人権・同和教育推進	
事業内容	<p>学校教育全般を通じて人権・同和教育の取組及び人権・同和教育担当者が中心となった校内での教職員研修を実施。</p> <p>人権・同和担当の指導主事を配置し、教職員の人権意識高揚と人権啓発の推進のための研修実施。金沢市同和教育研究協議会に対する支援。</p>
実績等	人権・同和教育についての研修会を実施。
点検・評価	小中学校において人権教育を進めていくことは必要不可欠であり、そのため教職員に対する研修等を積極的に行っていくことが必要である。
今後の課題・方向性	学校教育全般を通じて人権・同和教育を推進するため、教職員研修、学校訪問等での指導助言等は継続していく。

飼育動物の愛護	
事業内容	動物を飼育している小学校において、飼育に関し、訪問、相談、診察、治療等のサポートを行い、動物の大切に育つ児童の育成を図る。
実績等	学校への訪問・指導年2～4回程度
点検・評価	動物の飼育を通じて命の大切さを教えることは有効であり、飼育活動が安全に実施されるためには、専門家の支援が必要である。
今後の課題・方向性	多くの学校で動物の飼育が行われており、今後とも継続が必要。

【特別支援教育の充実】

校内支援体制の推進	
事業内容	特別支援教育コーディネーターを中心とした各学校の校内支援体制を構築するとともに、補助員・サポーターを配置し、特別支援教育の充実を図る。 金沢市就学指導委員会を開催し、専門的な立場から就学についての指導・助言を行う。 ・補助員 通常学級において教育的・介助的な支援をする。 ・サポーター 校外活動や行事等で一時的に支援をする。
実績等	特別支援指導補助員 51校58人 時間数延べ29,261.5時間 特別支援学級指導補助員 8人、特別支援教育サポーターの配置 就学指導委員会審議件数 233件
点検・評価	特別な支援を要する児童生徒は、年々増加する傾向にあり、個々に応じた教育を進めるために重層的・多面的な支援を行っていく必要がある。
今後の課題・方向性	今後も、支援の充実、効果的・効率的な活用を図りながら継続する。
特別支援学級・通級指導教室の設置、施設整備	
事業内容	特別支援学級を設置し、小・中学校学習指導要領のほか、特別支援学校学習指導要領を参考に特別の教育課程を編成し、指導を行う。通級による指導では各教科の内容を補充するための特別の指導を行う。また、学級設置のための施設整備や通学支援を行う。
実績等	小学校15校15クラス、中学校6校6クラスにて施設整備を行った。 特別支援学級の状況(平成21年5月1日現在) 知的障害特別支援学級 小学校51校118人 中学校15校39人 情緒障害特別支援学級 小学校43校91人 中学校18校33人 肢体不自由特別支援学級 小学校23校29人 中学校6校6人 病弱・身体虚弱特別支援学級 小学校2校6人 中学校1校2人 ことばの教室 小学校5校141人 中学校1校10人 きこえの教室 小学校2校10人 中学校1校2人 LD・ADHD教室 小学校3校37人 中学校1校14人
点検・評価	特別な支援を要する児童生徒は、年々増加する傾向にあり、個々に応じた教育を進めるために重層的・多面的な支援を行っていく必要がある。
今後の課題・方向性	今後も、支援の充実、効果的・効率的な活用を図りながら継続する。

【不登校・問題行動への対応】

児童生徒健全育成対策事業	
事業内容	児童生徒健全育成対策事業の実施 児童生徒の指導資料の発行、非行実態調査及び校外指導活動など
実績等	各小中学校において生徒指導に関する研究等を行ったほか、市全体での研修会や担当者連絡会を開催し、生徒指導の充実を図った。
点検・評価	学校・教育委員会・教育プラザ富樫及びその他の関係機関が連携し、問題を抱える児童生徒及びその保護者等に対し、適切な対応が必要である。
今後の課題・方向性	今後も、連携の強化を図りながら継続する。
適応指導教室事業「そだち」	
事業内容	「富樫」「此花」の2教室において、市内に在住する不登校児童生徒を対象に、社会的自立及び再登校を目標に、学習支援や対人関係を築く支援を行う。
実績等	平成21年度適応指導教室登録人数 54人 平成21年度適応指導教室通室延べ人数 3,220人
点検・評価	「富樫」「此花」の2教室において、不登校の児童生徒への支援を行うことができた。
今後の課題・方向性	不登校の児童生徒への支援を行うため、今後も継続して事業を実施。
家庭訪問相談事業	
事業内容	不登校の児童生徒のいる家庭に家庭訪問相談員が訪問し、継続的にかかわることで、児童生徒の自立や学校復帰を支援する。
実績等	平成21年度相談回数 47回
点検・評価	家庭訪問相談員が家庭に訪問し、不登校児童生徒へ支援することができた。
今後の課題・方向性	不登校の児童生徒への支援を行うため、今後も継続して事業を実施。
心の教育の推進＜再掲＞	
事業内容	・スクールカウンセラーの配置 いじめや不登校などの児童生徒問題行動や人間関係の悩みに対応し、学校における相談業務を行う。 ・心と学びの支援員の配置 保健室などの別室に登校する児童生徒の相談や学習の支援を行う。 ・技を学び心を育むチャレンジ教室 不登校生徒等に関心の高い分野の専門家講師を招聘し学ぶことで、学習意欲を喚起し、社会生活を送るために必要なマナーや知識を習得させる。
実績等	スクールカウンセラー配置 4校(小学校4) 心と学びの支援員配置 26校(小学校5、中学校21) 技を学び心を育むチャレンジ教室開催 10校
点検・評価	いじめや不登校に限らず、児童生徒の様々な悩みや問題行動にきめ細かく対応していくためには、様々な支援人材の活用が必要となっている。
今後の課題・方向性	質・量ともに必要性の高い事業であり、スクールカウンセラーや支援員の活用、各種支援内容の充実について今後も推進していく。

【外国人児童生徒への学習支援】

金沢市の小・中学校に在籍している外国人児童生徒に対し、基本的な日本語を指導し、のびのびと学校生活が送れるよう支援	
事業内容	・学校における日本語による学習が可能な日本語能力を身につけるための学習 日常会話の基礎、日本の文化や生活習慣の理解を図るための学習、基礎的 ・教科用語を含む日本語学習 ・日本語指導民間協力員の派遣
実績等	野町小、泉中で日本語教室を開設。通級困難な児童生徒に対し、日本語民間協力員を派遣。H21年度協力員2名 計36回派遣 対象児童3名
点検・評価	児童生徒の学びを保証し、のびのびと学校生活が送れるよう支援する観点から必要な事業である。
今後の課題・方向性	受け入れ態勢を維持していくことが必要なため、今後も継続する。

【健康教育の推進】

第2次健康教育推進プラン実践事業	
事業内容	金沢市健康推進プラン(第2次)に掲げる7つの健康課題について、行政・学校・家庭(地域)の連携のもと、実践的な研究を行う。
実績等	小学校4校、中学校3校にプランの健康課題について研究を行う。
点検・評価	学校、家庭、地域が一体となって健康づくりを進めることができたほか、研究発表等を通して他の小中学校にも成果を還元している。
今後の課題・方向性	H22年度まで継続するが、H23年度から健康教育に関する事業を引き続き実施していく。
子どもの体力・運動能力向上推進事業	
事業内容	小学校4～6年生、中学校1～3年生を対象に体力・運動能力向上のため、必要な基礎データを収集・分析し、以後の指導に活かす。
実績等	データを各学校及び児童生徒に配布し、現状把握をし、児童生徒の動機付けを図った。
点検・評価	データを学校や児童生徒に提示することで、具体的な課題や目標が明確になり、効果的な指導や児童生徒の動機付けになった。
今後の課題・方向性	H21年度で完了
学校保健推進団体への助成	
事業内容	金沢市学校保健会に対し、交付金を交付し、児童生徒の健康安全に関する指導の研究調査及び各種事業を行い、研究大会において考察・発表を行うなど、児童生徒の健康増進に寄与する。
実績等	学校保健会の運営事業に交付金を交付。よい歯のコンクール、子どもの健康フォーラム、学校保健研究大会の開催。年2回の会報を発行。
点検・評価	児童生徒の健康安全に関する指導の研究調査及び各種事業を行い、研究大会において考察・発表を行うなど、児童生徒の健康増進に寄与した。
今後の課題・方向性	児童生徒の健康増進に寄与した経緯からも今後とも継続する。

学校保健センター費	
事業内容	児童生徒の各種疾病や情緒障害等による体と心の障害について早期発見により適切な指導を与え、健康増進と学習能率の向上を図る。 心臓二次検診事業、健康相談事業、歯科巡回指導などの事業を実施。
実績等	心臓二次検診408人、健康相談137人、専門医派遣事業14回
点検・評価	検診・健康相談及び講演会等委託事業の内容に関し、真に必要な事項について、より重点的に行うことにより、学校保健センターの有効利用を促進している。
今後の課題・方向性	児童生徒の健康増進を図るうえで今後も継続していく。

学校医等保健研究委託	
事業内容	児童生徒の検診結果を分析し、現在の健康状態の傾向、学校保健事業の課題や今後の方向性について研究考察する。学校薬剤師の調査・研究によって学校環境衛生の課題等について研究考察する。
実績等	金沢市医師会は各種検診結果の分析・考察を実施。金沢市学校薬剤師会は、薬の正しい使い方、冬季教室内空気検査に関する研修会を開催。
点検・評価	検診データの分析や健康に関する研究及び学校における環境衛生に関する検査は健康教育、体力の向上に必要であり、欠かすことができない。
今後の課題・方向性	これらの検査は健康教育、体力の向上に必要であり、今後も継続する。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	地域に開かれた学校づくり

【開かれた学校づくりの推進】

学校評議員の設置	
事業内容	学校長の求めに応じて学校運営への助言を行う学校評議員を委嘱
実績等	学校評議員数271人 全小中学校、市立工業高校に配置
点検・評価	金沢市立小学校・中学校管理規則第22条の3、市立工業高校管理規則第24条の3の規定に基づき配置し、家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することができた。
今後の課題・方向性	保護者や地域の声を幅広く聞きながら学校運営を行い、開かれた学校づくりの推進ために継続して実施していく。

地域に開かれた学校づくりの推進	
事業内容	市民からの信頼に応え、家庭や地域と一体となって、金沢の子どもたちの健やかな成長を促すために「地域で育て、地域を育てる学校づくり」のための環境づくりを積極的に推移し、地域に開かれた学校づくりを推進する。
(1) スクールフォーラム21の開催<再掲>	
事業内容	教職員と保護者、地域住民がともに学校づくりに取り組むための話し合いをすべての小中学校で実施。
実績等	開催校 84校(芳斉分校を含む)
点検・評価	学校・家庭・地域が一体となって、より良い学校づくりや子どもの健全育成を進めていく上では不可欠な事業である。
今後の課題・方向性	開催時期や方法等、地域の実情に応じて工夫しながら、今後も継続していく。
(2) スクールモニター制の実施<再掲>	
事業内容	学校外の子どもの様子等を学校に報告する地域ボランティアを配置
実績等	80校(小中併設校は1校と算出)で実施
点検・評価	地域の協力を得て子どもの健全育成に取り組むことができたほか、地域に開かれた学校づくりにもつながっており、有効な事業であると考えている。
今後の課題・方向性	今後も継続して実施する。
(3) 全市一斉「学校公開週間」の実施<再掲>	
事業内容	気軽に保護者や地域住民が学校や子どもたちの様子を参観する場の提供
実績等	6月1日～4日 市内59小学校1分校、24中学校、市立工業高等学校で実施
点検・評価	保護者や地域住民の学校に対する関心を高める上で有効な事業であり、開かれた学校づくりを進める上でも必要な事業である。
今後の課題・方向性	開催時期や周知方法を工夫する等、参加者増のための検討を行いながら、今後も継続して実施する。
スクールサポーターの活用	
事業内容	広く多様な人材を活用し、子どもたちが興味・関心を持っている授業を展開する。
実績等	ゲストティーチャー(英語含む) 78校 延べ657人 2,242H ユースサポーター 20校 延べ173人 688H
点検・評価	地域を題材にした学習や、伝統・文化等を扱う授業等においては、地域人材の有効活用は必要不可欠なものとなっている。
今後の課題・方向性	学校からの要望も多いこと、地域人材の活用からも今後も継続する。
特別非常勤講師制度の活用	
事業内容	地域の人材や教員OBを専科教員不在の学校に特別非常勤講師として配置
実績等	特別非常勤講師活用校 小学校5校 延べ6人 243H
点検・評価	専科教員がない小規模校などにおいて、専門的な知識や技術を持った人材を配置することにより、児童の理解や関心を高めることができた。
今後の課題・方向性	専科教員の不在を補完し、授業の活性化を図るため継続して実施する。

【学校施設の開放】

学校施設開放事業	
事業内容	子どもの健全な育成を推進し、地域住民の健全なグループ活動を育成するため、平日夜間・休日の校舎・体育館などの学校施設を開放する。
実績等	開放校数78校、ナイター12校 開放日数 22,560日
点検・評価	夜間照明施設を利用する運動場に関しては、生涯学習課が管理運営。 開放に係る施設修繕(夜間照明取替等)費用が多くかかる。
今後の課題・方向性	今後も、未開放校について開放に向けて学校・地域に働きかけ、施設の活用を推進。

【外部評価の実施】

外部評価の実施	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校が児童生徒の学習状況、教員の授業、教育課程の実施状況等の自己点検・自己評価を行った上で、児童生徒、保護者及び地域住民等からの外部評価を受けることを通じて学校経営の改善を図る。 ・校長会議や研修会等を通じて、学校評価の趣旨や方法等の周知を図る。 ・学校訪問を通じて、各学校の取組充実に向けた指導助言を行う。 学校評議員の設置<再掲>
実績等	それぞれの学校は、教育活動や学校運営全般にわたる自己点検・自己評価を行った上で、さらに授業の内容や理解、地域への学校の説明などについて、児童生徒や保護者、地域住民等からアンケート等を通じて意見を募った。
点検・評価	開かれた学校づくりを進める上でも、学校評価の重要性は増しており、学校評価ガイドラインの提示や学校への指導助言は必要不可欠である。
今後の課題・方向性	評価方法の確立と適切な学校運営に繋がる評価について今後も検討が必要。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	教員の資質向上

【研修プログラムの充実】

教職員研修事業	
事業内容	教職員の資質・能力の向上を図り、金沢市の教育の充実を図る。 ・経年研修、職能研修、専門研修、特別研修といった体系的な研修計画の策定と効果的な研修の実施。 ・初任者研修実施協議会の開催(年1回)
実績等	平成21年度研修受講者数 8,589人 経年研修の強化として2年目研修、4年目研修、7年目研修を充実。 初任者研修において、初任者を支援するため学校へ出向いてのカウンセリングを年2回実施。 特別支援教育の課題をふまえ、特別支援教育補助員研修を新設。 学校現場のOJT体制の支援のため特別講師制度を充実。 市立工業高校教員を雇用・能力開発機構へ派遣する「産業教育」を新設。
点検・評価	教員に確かな授業力を身につけさせるための経年研修を強化することができた。 また、実技・実践研修をはじめ参加型研修を多く取り入れ、研修効果を高めることができた。
今後の課題・方向性	今後も時宜に応じた研修を展開するとともに各学校でのOJTの充実を図る。
幼保小連携推進事業	
事業内容	幼児教育と学校教育の連携を強化し、子どもの基本的な学習態度を養成する実践研究を実施。
実績等	実践校での交流活動 1校 (活動成果実践報告会開催) 保育所、幼稚園への研究事業委託 2所(園) (研究成果実践報告会開催) 各種研修会、講演会実施
点検・評価	保育所、幼稚園のカリキュラムの特色を活かしつつ、小学校入学時に基本的学習態度が身につく素地ができるよう、各種事業を通して滑らかな連携を図ることができた。
今後の課題・方向性	実践的な研究活動を通して幼児教育と学校教育の連携を強化できるよう、今後も継続して事業を実施。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	学校環境の整備・充実

【学校施設の大規模改造】

学校施設の大規模改造	
事業内容	築後20年以上経過した学校施設について、建築年次の古いものから内部・外部の大規模改造工事を実施する。
実績等	長坂台小学校で第2期工事を実施した。 改修内容:教室廊下等の床の改修、外壁改修工事、屋上防水工事等
点検・評価	施設の延命化や教育環境の向上が図られた。
今後の課題・方向性	今後も学校施設の老朽度の状況を見極め、順次整備していく。

【学校施設の耐震化】

学校施設の耐震化	
事業内容	地震防災緊急事業5カ年計画に基づき、昭和56年以前に建築された学校施設について、耐震診断及び耐震補強工事を実施する。
実績等	中学校施設:浅野川・高岡・西南部・紫錦台・野田中の耐震補強工事 泉中ほか2校の校舎耐震2次診断 高岡中ほか3校の体育館補強計画及び実施設計 小学校施設:材木町小ほか12校の校舎耐震2次診断 味噌蔵町小ほか1校の校舎耐震補強計画 花園小ほか10校の体育館耐震補強計画及び実施設計
点検・評価	施設の耐震化が図られた。 耐震化率 66.4%(H21.4.1) 67.4%(H22.4.1)
今後の課題・方向性	引き続き国の財源を活用しながら、金沢市学校施設整備計画検討会の整備計画を基本に、出来るだけ速やかに学校施設の耐震化を図る。

【学校の新・増・改築等の整備】

小中学校施設石綿対策事業	
事業内容	施設に石綿が含まれている材質のものが確認された場合、必要な措置を行う。
実績等	除去工事を実施(小学校6校、中学校1校)
点検・評価	飛散性のあるアスベストの除去が完了した。
今後の課題・方向性	今後も必要に応じて適切に対応していく。

小中学校空調整備事業	
事業内容	保健室、校長室、職員室への空調設備を設置
実績等	小学校:工事实施6校(額・長坂台・馬場・明成・中村・米泉小) 中学校:工事实施3校(北鳴・港・長田中)
点検・評価	空調設備整備済学校数 50校(H21.4.1) 59校(H22.4.1)
今後の課題・方向性	平成24年度を目処に整備を完了する。
小中学校施設改築工事	
事業内容	老朽化した施設を順次改築する。
実績等	森本小学校屋内運動場改築工事に着手した。 小立野小学校改築工事の基本及び実施設計を実施した。
点検・評価	施設の耐震化や教育環境の改善が見込まれる。
今後の課題・方向性	今後も学校施設の状況を見極めながら、地域の合意や諸条件が整い次第、国の財源を活用し、早期に老朽化した学校施設を改築する。
小中学校施設増築工事	
事業内容	児童数増加による教室不足を解消するため校舎を増築する。
実績等	千坂小学校で校舎増築工事を実施した。(4教室) 大徳小学校校舎増築工事の実施設計を行った。
点検・評価	教育環境の改善が図られた。
今後の課題・方向性	今後も児童数の増加や、学級上限の引き下げの動向を見極めながら、必要に応じて適切に対応していく。

【安全管理の推進】

学校における児童・生徒の安全確保のため、安全管理対策の充実を図る。	
事業内容	・学校行事日の受付業務 ・オートロック・テレビドアホンの設置、非常階段出入り口扉の設置、門扉・フェンスの整備 ・学校合同行事の警備 ・子ども見守りボランティアへの活動支援等
実績等	テレビドアホン・オートロック電気錠の整備・・・千坂小、三馬小、安原小、小將町中 子ども見守りボランティアへの支援(7,082人ボランティア保険に加入)
点検・評価	テレビドアホン・オートロックの設置、施設の改善等を行った。 子ども見守りボランティアへの活動支援(手帳支給、活動保険費負担)を行い、児童の登下校時の安全確保に努めた。 オートロック・テレビドアホン設置済学校数 60校(H21.4.1) 64校(H22.4.1)
今後の課題・方向性	引き続き、児童生徒の安全確保のため、実施事業について、警備等のソフトと施設改良等のハード双方の視点から継続して行う。

【給食施設の整備】

共同調理場整備事業	
事業内容	共同調理場の整備を行う。
実績等	小立野共同調理場改築工事の基本及び実施設計を実施した。 学校給食調理場再整備計画の策定に着手した。
点検・評価	学校給食施設の整備を通じて教育環境の改善が見込まれる。
今後の課題・方向性	小立野共同調理場の改築については、平成24年度の完了を予定。 学校給食調理場の再整備計画についてはさらに検討を行い、平成22年度中の策定を行う予定。

【私立学校、幼稚園への支援】

私立幼稚園運営費補助	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園等運営費補助：私立幼稚園への運営費補助 ・私立幼稚園心身障害児幼稚園運営費補助：心身障害児が1人在園している私立幼稚園への運営費補助 ・金沢子育て夢ステーション事業費：私立幼稚園が開催する子育て支援事業に必要な経費補助 ・私立幼稚園預かり保育推進事業費補助：私立幼稚園での休業日及び平日の預かり保育に必要な経費補助
実績等	補助金交付園数 <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園等運営費補助 37園 ・私立幼稚園心身障害児幼稚園運営費補助 4園 ・金沢子育て夢ステーション事業費 24園 ・私立幼稚園預かり保育推進事業費補助 24園
点検・評価	幼児教育の振興及び学校経営の安定化が図られた。
今後の課題・方向性	私立幼稚園の教育内容の充実のため、今後も継続する。

私立幼稚園施設整備費補助	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園施設整備事業費補助：施設整備費の一部を補助 ・私立幼稚園子育て支援施設整備費補助： 子育て支援施設整備費の一部を補助 ・私立幼稚園施設耐震診断費等補助： 施設の耐震診断・耐震設計費の一部を補助
実績等	補助金交付園数 <ul style="list-style-type: none"> ・私立幼稚園施設整備事業費補助 5園 ・私立幼稚園子育て支援施設整備費補助 2園 ・私立幼稚園施設耐震診断費等補助 0園
点検・評価	幼稚園施設の充実が図られた。
今後の課題・方向性	私立幼稚園の教育内容の充実のため、今後も継続する。
私立学校運営費補助	
事業内容	・私立小中高等学校運営に必要な経費の補助
実績等	・私立小学校 1校、私立中学校 2校、私立高等学校 6校
点検・評価	学校運営の安定化、市民のニーズに応える学校づくりと教育条件の維持向上が図られた。
今後の課題・方向性	少子化や教職員の給与制度見直しなどの環境変化を踏まえ、補助水準の適正化を図る必要がある。

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 個性を活かした学校教育の推進
基本施策	市立工業高等学校の整備・充実

【学校の活性化と授業力向上】

授業力評価委員による学校訪問	
事業内容	各分野の大学教授等を委員に委嘱し、学校運営や授業改善について評価や助言を受ける。
実績等	年度末の全体会も含め、8名の委員により、延べ24回の来校があった。
点検・評価	金沢市と大学等との連携協定に含まれる、「魅力ある授業づくりプロジェクト」を推進する上において、各委員による学校訪問がベースとなっている
今後の課題・方向性	訪問のタイミングの調整については、年間を通じたスケジュールで計画し、PDCAサイクルを構築し、一步一步着実に改善が見込まれる仕組みづくりが今後の課題となっている。
有識者9人による市立工業高等学校教育改革推進委員会の開催	
事業内容	「工業教育金沢モデル」の各事業の進捗に関する検証や今後の事業の方向性を確認する。
実績等	平成21年度は2回(7月および2月)に開催
点検・評価	「工業教育金沢モデル」の各事業が安定するまで、委員会の開催が必要である。
今後の課題・方向性	校舎改築も進む中、デュアルシステムの試行も始まり、工業教育金沢モデルの主要施策が着実に進行させる必要がある、これからが仕上げの時期に入っていくものと思われる。
教育研修センターへの派遣等 教育研修	
事業内容	専門教育機関等が実施する教育研修へ参加
実績等	教員7名が各教科の教育研究会などに参加
点検・評価	教員の資質向上のため必要な事業であり、限られた予算の中で活用されている。
今後の課題・方向性	高校に対応した内容、工業に特化した内容など教育プラザ富樫の開講講座に網羅されない内容について個別対応する必要がある、今後も引き続き実施していく。

【ものづくり教育の充実】

工業人養成企業実習の試行実施	
事業内容	職業人としての厳しさ、心構え、人間関係の大切さを理解し、工業人としての基礎的な技術の習得を図るため、就職を希望する2年生が企業実習に参加。
実績等	8月17日から28日までの2週間、試行を実施。 参加生徒5名、受入企業3社
点検・評価	参加生徒、受入企業にアンケートを実施した結果、生徒・企業とも有意義な内容であったとの感想が得られた。
今後の課題・方向性	平成23年度の本格実施に向け、参加生徒や受入企業の増加を図るため検討協議会で議論を踏まえ、より実効性の高いものにして行く。

民間技術者を活用した多様な授業の実施	
事業内容	民間技術者を教諭や講師に任用し、実社会の経験を活かした授業・実習を実施。
実績等	1年を通して、建築・土木科に教諭を各1名任用、またコマツOBや板尾鉄工所から高度な技術を持った熟練技能者を講師として各1名招聘。
点検・評価	前年に比べ、ものづくりコンテストの成績向上や資格取得数が大幅な上昇につながった。
今後の課題・方向性	今後も高度な技術を持つ民間人を積極的に招聘し、ものづくり教育の充実を図る。
職人大学校や金沢美大との連携	
事業内容	職人大学校と連携し、匠の技を継承する職人から優れた木造建築を学ぶ。美大と連携し、教授や学生からデザインの指導を受け、ものづくりの感性を磨く。
実績等	建築科生徒が3人の講師より、工業基礎・実習・課題研究の講義を受ける。「デザインサマースクール」を開催し、デザインの実践講義を受け感性を高める。
点検・評価	ものづくりコンテスト全国大会出場や各種資格取得に効果を発揮。
今後の課題・方向性	引き続き連携を実施し、高度な技術の修得と感性に磨きをかけることに努める。
「ものづくり高校発信講座」の開催	
事業内容	近隣中学校2年生の生徒に対し、学校紹介や課題研究の成果などを発表しものづくり教育や活動への関心を持ってもらう出前講座を開催。
実績等	長田、大徳、金石の3中学校へ本校4科の生徒が出向き実施。
点検・評価	発表後アンケートを実施した結果、約7割の中学生が本校への印象やものづくりへの関心が高まったと回答。
今後の課題・方向性	今後も継続して市立工業高校の魅力を発信してゆく。また、生徒のプレゼンテーション能力の向上に努める。

【21世紀にふさわしい学校づくりのための施設整備】

改築工事	
事業内容	「21世紀における新しいものづくりと人材育成に対応可能な教育環境の整備」を基本指針とした改築工事を実施。 事業期間：平成12年度 基本構想策定 平成13年度 基本設計完了 平成14～15年度 実施設計完了 平成16～24年度 工事実施(第1期～第4期) 総事業費：約60億円
実績等	第2期工事の実施(平成20年7月～平成21年8月) 第3期工事の着手(平成21年9月～平成22年12月予定)
点検・評価	施設の耐震化及び教育環境の向上が図られた。
今後の課題・方向性	平成24年の完了に向け引き続き第4期工事を実施する。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	元気なまち・金沢をつくる
基本方針	- 4 生涯にわたる学習環境の支援
基本施策	生涯学習機会の充実

【生涯学習の推進】

市民大学講座の開催	
事業内容	各界で活躍中の著名人・学識者の生き方・考え方をとおし、市民が夢や志を実現することの可能性への指針を見出すきっかけや、市民の意識を育むため学習機会の提供をする。
実績等	講演会 6回実施。受講者数延べ3,246名。
点検・評価	20年度に引き続き、インターネット等による予約販売やPR方法の見直しにより、受講生拡大を目指した。受講者数は前年度並みであった。
今後の課題・方向性	今後とも多くの市民へ多様な学習機会を提供するため、内容の見直しと充実化に努める。
女性教育の推進	
事業内容	女性の学習機会の充実と社会参加の促進、地域教育力の向上を図る。
実績等	女性学級の開催：学級生数延べ3,231人 校下婦人会連絡協議会(49校下、会員数約17,000人)への助成：補助金4,010千円 女性ふれあいトークの開催：3ブロック(城北・城南・西部地区)
点検・評価	各事業とも21年度目標としていた学習機会を実施することができた。 女性の社会参加促進と地域教育力の向上につながった。
今後の課題・方向性	女性学級は、女性の意識啓発、教育力の向上を目標として創設された事業である。今後は、地域の状況に合わせた自由な学習機会として見直しする必要がある。 金沢市校下婦人会連絡協議会は、地域社会活動を支える中心的役割を担っており、高齢化・少子化・安心安全なまちづくり等豊かな地域づくりと女性の地位向上をめざす団体活動を支援することは必要である。 女性ふれあいトークは、女性が市政やまちづくりについて、市長と直接語り合う機会として、女性の社会参加の促進に寄与しているが、今後は事業のあり方や実施方法、内容等について検討する必要がある。

家庭教育の推進	
事業内容	PTA活動の振興...青少年の健全育成及び会員の資質向上をめざし、家庭教育の向上や、家庭・学校・地域の連携を推進し、子どもの生き抜く力とゆとりを育むPTA活動の振興を図る。また、県内外の先進PTAとの研修交流活動の参加促進や、様々な教育上の課題に対して家庭・学校・PTA相互の連携を図る。 家庭教育学級の運営委託...保育所(園)、幼稚園、小中学校等の保護者会に家庭教育学級の開設運営を委託し、学び合う機会を提供する。 「かなざわ親塾」事業...心と命を大切にす豊かな人間性をもった子どもたちを育てるため、親自身が気づき、学び、成長するための学習機会を提供する。
実績等	PTA活動振興...金沢市PTA協議会へ2,040千円交付。 家庭教育学級...108学級へ開設委託。参加者数延べ24,197人。 「かなざわ親塾」事業...入学前セミナー、情報モラル出前講座、父親の子育て支援、企業・地域への啓発出前講座。計85回実施
点検・評価	PTA活動・家庭教育学級については、家庭教育力向上や、家庭・学校・地域の連携を推進することにつながった。「かなざわ親塾」は、21年度から開始した事業であり、特に父親子育て講座を重点に置いた体験講座を実施した。参加者からは親子の絆づくりのきっかけになったと好評であった。
今後の課題・方向性	金沢市PTA協議会は、各単位役員の代表から組織されており、本市PTA活動の振興、研究活動の実施にあたり重要な役割を果たしており、今後とも団体活動を支援していく。 家庭教育学級は、目的達成のため「家庭教育学級を考える会」と連携し、各学級への指導体制を強化するとともに、各学級の学習内容の拡充を図る。 「かなざわ親塾」は、より多くの参加者に学習機会を提供するように努める。

【公民館の整備・学習内容の充実】

中央公民館の運営	
事業内容	公民館活動の主体となる中央公民館を管理・運営する。 自主事業の運営、合唱団の育成、高齢者教育の推進
実績等	生涯学習講座...2講座8回 延べ367人受講。 合唱団育成...中央公民館合唱団(県合唱フェスティバル、定期演奏会、合唱コンクール外) コーラス「円」(県合唱フェスティバル、全日本お母さんコーラス中部大会外) 高砂大学校...33回開講、入学者数391人 修了者数355人 高砂大学院...講座数26回(4科)、入学者数367人 修了者数347人 高砂大学校同窓会...運動会、作品展等の同窓会活動補助
点検・評価	生涯学習講座は、市民の多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供することにより市民の教養文化を高め世代間の交流や自己実現を目指すきっかけとなった。高砂大学の設置等については、高齢者の生きがいづくりに必要不可欠であり、豊富な講師陣・講義内容や担当指導員の人柄を含め入学生から好評である。上位課程や同窓会組織、自主サークルも多数備わり、他都市類似事業と比較しても充実している。また高齢者の市都市部流入にも寄与し大変有益である。
今後の課題・方向性	どの事業においても、より多くの参加者となるよう、さらに内容を見直し、拡充を図る。

公民館フェアの開催	
事業内容	日頃、各公民館で創作活動、コーラス活動等を活発に行っている人々が一堂に会して成果を発表し、公民館相互の強調連帯を深める。
実績等	公民館フェア”楽集”の開催 平成22年2月20日、21日 来場者数延べ7,051人 地区公民館優良役職員表彰式典を併せて開催した。
点検・評価	中央公民館及び地区公民館で活動している合唱、伝承芸能、文化サークル等の発表によって、公民館相互の連帯感が深まり、大変意義があった。
今後の課題・方向性	今後地区公民館を通じて、世代を超えたより多くの方の参加を求めていくとともに、地区公民館の活動事例発表をより充実させていくことにより、地区公民館との連携強化を図っていく必要がある。
公民館職員の研修、活動支援講座の開催	
事業内容	公民館職員の資質向上を目指し、研修や教養講座を開催し、様々な市施策や時事問題等の知識について学ぶとともに、公民館活動活性化のため、各部で活動している役職員を対象として、地域づくりのための企画立案・地域リーダー育成のための講座を実施。
実績等	毎月1回公民館主事を対象に研修を実施 地区公民館主事等一般教養講座...4回 延べ240人受講 地区公民館役職員・指導者養成講座...1回 延べ20人受講
点検・評価	公民館の役割が高度化・専門化が進む中で、市の政策や時代のニーズに合った問題等を学ぶことにより、役職員等の資質向上が図られた。
今後の課題・方向性	公民館活動の活性化のため、今後とも重要な事業であると位置づける。
地区公民館の地域団体による管理・運営	
事業内容	各地域の自主運営による、地域のニーズに即した公民館運営を目指す。
実績等	公民館施設の充実を図るため、地域の社会教育団体である各地区公民館振興協力会を指定管理者とし、地区公民館の管理・運営を行う。 21年度管理・運営費 594,013千円
点検・評価	60地区公民館ごとに指定管理者を設け、地域に運営を任せる。 金沢の地域コミュニティで重要な要素になっている「金沢方式」は21年度も継続。
今後の課題・方向性	今後も地域住民の交流の場として、地域の生涯学習拠点として重要な役割を果たすことが期待されている。
地区公民館の改修整備	
事業内容	老朽化した施設を順次改修等し、施設の充実を図る。
実績等	犀川公民館移転(H22年度竣工)、夕日寺公民館移転(H22年度落成)
点検・評価	移転整備工事等が順調に進んだ。
今後の課題・方向性	今後とも地元要望のある施設について、改修や整備をすすめていく。

【生涯学習施設の機能強化】

生涯学習施設利用予約システム	
事業内容	生涯学習施設の空室状況、予約申込等手続の簡素化を図り利便性を向上させる。また抽選機能により、申込開始時の混雑を解消する。
実績等	対象施設：中央公民館長町館、彦三館、長土堀交流館、女性センター 平成21年12月に予約システムを更新し、利便性を図った。
点検・評価	インターネット人口の増加といった社会的な背景や、空室状況を検索・予約できるという利便性により、今後ますます利用者が増えると思われる。
今後の課題・方向性	今後とも安全かつ安定したシステム運営と、システム維持経費の効率化に努める。
生涯学習施設の管理・運営	
事業内容	キゴ山青少年教育施設(少年自然の家、天体観察センター、ふれあいの里)、中央公民館、長土堀交流館を運営する。
実績等	中央公民館：利用者数 231,234人 キゴ山少年自然の家：利用者数 11,493人<再掲> キゴ山天体観察センター：利用者数 9,745人<再掲> キゴ山ふれあいの里：利用者数 31,865人(うちビジターハウス：17,633人) 長土堀交流館：利用者数 23,588人
点検・評価	キゴ山少年自然の家のみ利用者数が減少したが、耐震工事による休館(11月～1月)の為と思われる。
今後の課題・方向性	各施設において今後とも適切な施設維持に努め、更なる利用者増加を目指していく。

【図書館の整備・充実】

資料整備及び普及活動	
(1) 玉川図書館	
事業内容	<p>多様な市民ニーズに応えた良質な資料を提供することにより市民の調査研究に資する。さらに、生涯学習の拠点、市民のやすらぎの場の提供を行う。また、図書館からの遠隔地にも配慮した市全域サービスを行い、市民全員の図書館を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地への自動車文庫の巡回 ・学校、団体、各種施設向けに資料の貸出 ・文字・活字文化を推進するための事業開催 ・ボランティアを育成し、市民との協働
実績等	<p>資料購入冊数：玉川9,139冊、城北2,378冊、自動車2,309冊 貸出冊数：玉川435,680冊、城北159,803冊、自動車50,729冊 貸出利用者数：玉川124,653人、城北37,378人、自動車7,931世帯 (玉川・・・玉川本館、城北・・・城北分館、自動車・・・自動車文庫) 自動車文庫巡回36箇所、遠隔地小学校巡回貸出4箇所、 配本所・団体貸出43箇所、読書会5回開催、 玉川図書館30周年記念講演会</p>
点検・評価	<p>多様な市民ニーズを踏まえた蔵書購入に努め、貸出利用者数、貸出冊数とも目標を達成した。利用しやすく魅力ある図書館、生涯学習の場としての市民や地域に役立つ図書館として、今後も資料の収集、保存、整備を継続していきたい。</p> <p>図書館から遠距離・交通不便等により利用しにくい地域に対しての自動車文庫の巡回サービス、公民館等の配本所や団体への図書貸出を実施することは、全ての市民に対する図書館奉仕の趣旨から必要不可欠である。</p>
今後の課題・方向性	<p>平成23年春の金沢海みらい図書館の開館に向けて、市立図書館システムの再構築や自動車文庫のステーションの配置について検討していく。</p>

(2) 泉野図書館	
事業内容	<p>一般図書、児童書及び視聴資料等を幅広く収集し、公開することを通じて、市民の知識教養を高めるとともに、専門的調査研究に資する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会、映画上映会、コンサート等自主事業の実施 ・点字、録音図書の貸し出しなど視覚障害者サービスの実施 ・国連寄託図書館の運営 など
実績等	<p>資料購入 泉野 17,750冊 平和町児童図書館 986冊 貸出冊数 泉野 1,161,022冊 平和町児童図書館 24,898冊 貸出利用者数 泉野 253,407人 平和町児童図書館 7,835人 自主事業実施状況 コンサート、演劇各2回 映画会14回 定例おはなし会84回 おはなし招待席13回</p>
点検・評価	<p>貸出冊数、利用者数とも昨年度をわずかに下回ったが、概ね目標どおりの結果となった。映画会については、回数を増やし、動員人数も著しく増加している。</p>
今後の課題・方向性	<p>多岐に亘る市民ニーズに対応するための資料収集を継続するとともに、館の特性を活かした自主事業の実施により、生涯学習施設としての責任を果たしていく。</p>
(3) 玉川こども図書館	
事業内容	<p>金沢市の子ども読書の拠点となる図書館として、子どもたちの感性や創造性を育む観点で、絵本等の児童図書を整備する。また、子どもが図書館を訪れ読書の楽しさを知るきっかけとして各種催し物を開催するとともに、学校や地域等との連携を深め、図書館に親しんでもらうよう取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童に対する読書の普及活動(金沢市子ども読書推進プラン21の推進) ・学校図書や地域文庫、その他子ども読書関連団体との連携・支援 ・各種団体を図書館へ招待 ・各種イベントの計画・実施 ・図書館ボランティアの育成、研修
実績等	<p>資料購入冊数 4,606冊、 学校支援 678冊 貸出冊数 318,849冊、 団体貸出 27,666冊 貸出利用者数 57,168人、 団体 811件 入館者数 197,351人 事業実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい親子読書講座2回、講演会2回、ふるさと読書フォーラム1回、初めての本との出会い講座12回 ・学校図書館ボランティアのためのはてな解決講座3回、幼稚園教諭・保育士対象絵本講座2回 ・幼稚園・保育園招待37回、児童クラブ招待11回、小中学校招待31回 ・芸術・文化プログラム45回、玉川こどもシアター5回、子どもふるさと学習講座3回 ・コンサート3回、おはなしのもり3回、グリム童話イラスト展、ポーロニャ世界の絵本展、小中学校美術作品展、絵本の時間363回、おはなし会225回など </p>
点検・評価	<p>子どものための専門図書館として平成20年11月に開館し、多くの本を寄贈していただくなど、蔵書冊数は当初計画を上回るペースで伸びており、順調に推移している。また、多くの分野に関心が高まるように、おはなし会だけでなく、各種の講座や教室、展示会などを開催し、入館者数も順調に伸びている。</p>
今後の課題・方向性	<p>今後も多種多様な図書を豊富にそろえ、多くの子どもや親子に親しまれる図書館を目指す。また、外国語の児童図書・絵本を積極的に購入することで、世界の絵本コーナーを充実させる。さらに、各種事業を展開することで多くの子どもたちの来館を促すとともに、学校や地域団体との連携も強化していく。</p>

(4)近世資料館	
事業内容	市民の財産である地域の歴史史料を、より良い状態で保存し、将来にわたって伝えていくと共に、史料の充実を進め、広く市民の利用に供する。 ・史料の補修、マイクロフィルム化、CD化による資料保存 ・史料の購入収集による史料の充実 ・所蔵史料の翻刻(原本どおりに活字に組み出版)による利用の利便化
実績等	絵画・地図補修3枚、古文書補修1,756枚、史料マイクロ化40,410コマ、 絵画・地図CD化29画像、茨木文庫目録刊行、古文書講座44回開催、 史料掲載許可件数115件、常設展示3回 近世史料館開館10周年記念特別展(加賀藩の塩硝)、 市制120周年記念金沢市史資料用DVD作成
点検・評価	市民の歴史に対する要求と地域の歴史史料を結ぶ接点であり、 金沢(加賀藩等)の歴史的史料の収集、補修、マイクロフィルム化 等により史料の利活用を図った。
今後の課題・方向性	一定の予算を確保し、永続的な史料の収集と後世に伝え残して いくための保存事業を継続していく。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	美しいまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 伝統文化の保存・継承
基本施策	文化遺産の保存

【文化財の指定と保存】

文化財の指定と保存	
事業内容	金沢市内にある文化財の保護のため、指定制度を行っている。
実績等	建造物3件、工芸品3件、歴史資料2点を指定した。
点検・評価	金沢市指定文化財(平成22年3月31日現在) 有形文化財...建造物19、絵画31、彫刻18、工芸品73、書跡3、 古文書・典籍3、考古資料7、歴史資料6 無形文化財...芸能2 民俗文化財...有形4、無形8 記念物...史跡8、名勝4、天然記念物4
今後の課題・方向性	本市の歴史遺産の保存・継承に向け、引き続き詳細調査を実施し、貴重な文化財の指定を推進する。

目標	美しいまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 伝統文化の保存・継承
基本施策	金沢ゆかりの文化の保存・活用

【ふるさと教育の推進】

ジュニアかなざわ検定の実施<再掲>	
事業内容	小学校4年生から中学校3年生までを対象とし、楽しみながら金沢について学び、ふるさとについての知識の習熟度を高める検定を年1回実施。
実績等	8月25日に市内小中学校等を会場に開催。 受検者2,004人(その他保護者10人)
点検・評価	受検者数は対前年度比で約135% 前年度以上に、子どもたちが金沢を学び、習熟度を高めることができた。
今後の課題・方向性	引き続き、子どもたちの金沢を知る意欲を引き出すために、検定の定着を図るべく市内小中学校への周知に努めていく。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 2 子育て環境の整備
基本施策	子育て支援体制の充実

【経済的な支援の充実】

就学援助制度	
事業内容	金沢市内の小中学校に在籍する児童生徒で、経済的理由のため就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して、学用品費等を支給し就学における経済的な負担を軽減 援助内容...学用品費等(学用品費、通学用品費、校内活動費)、 新入学用品費(1年生のみ)、校外活動費(宿泊を伴う校外活動に要する交通費、 宿泊費等)、修学旅行費(修学旅行に要する交通費、宿泊費等)、 体育実技用具費(スキーレンタル、剣道・柔道用具購入費)、学校給食費、 医療費(学校病の治療が対象)
実績等	認定者数 小学校 4,230人(全児童数に対する認定率...17.0%) 中学校 2,244人(全生徒数に対する認定率...19.0%)
点検・評価	保護者の経済的負担の軽減が図られた。
今後の課題・方向性	義務教育の円滑な実施を図るため、今後も継続する。
特別支援教育就学奨励制度	
事業内容	金沢市内の小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者で、生活保護、就学援助の認定者を除く保護者について、負担能力の程度に応じ、特別支援学級への就学のための必要な経費の一部について援助 援助内容...医療費以外は就学援助とほぼ同じだが、支給額は交通費を除いて 就学援助の1/2
実績等	認定者数 小学校 239人(120学級) 中学校 78人(40学級)
点検・評価	保護者の経済的負担の軽減が図られた。
今後の課題・方向性	特別支援教育の普及奨励を図るため、今後も継続する。

私立幼稚園就園奨励制度	
事業内容	私立幼稚園に在園する園児の保護者の経済的負担を軽減し、私立幼稚園への就園を奨励するため、保育料・入園料を補助 対象者...金沢市に住所を有する満3歳から小学校就学の始期に達するまでの者
実績等	受給者数 3,491人
点検・評価	保護者の経済的負担を軽減し、私立幼稚園の就園を奨励できた。
今後の課題・方向性	子育て支援の観点から、今後も継続する。
小中学校遠距離等児童生徒通学費補助	
事業内容	金沢市立小中学校の児童生徒で遠距離等の理由で徒歩通学が困難な方に対し、通学費を補助 対象者...遠距離通学者(通学距離が小学校3km以上、中学校5km以上)、通学路に徒歩危険区域が含まれることにより路線バス又は電車により通学している者、教育委員会が別に定める特例区域外通学者(山間地併設校3校) 補助額 路線バス又は電車による通学者 ...バス・電車の通学にかかる実支出額(定期代)の1/2 教育委員会が特に認める交通手段(自家用車) ...実際の通学に要した日数1日につき25円(*)/1kmを乗じた額以内の額(上限あり) * H22年度～単価改正 25円 27円
実績等	対象者 児童194人 生徒180人
点検・評価	保護者の経済的負担の軽減が図られた。
今後の課題・方向性	遠距離等通学者の経済的負担の軽減を図るため、今後も継続する。

【教育に関する相談体制の構築】

面接相談事業	
事業内容	保護者や教職員を対象に、主に学校生活での不適応、発達にかかわる問題や就学、不登校等について、心理士や指導主事等の相談員が継続的に相談に応じる。
実績等	平成21年度相談延べ人数 3,529人
点検・評価	センターの相談員が面接し、継続的に相談に応じることができた。
今後の課題・方向性	相談員の専門性の向上に努めながら、今後も継続して保護者・教職員等への相談事業を実施。
巡回専門相談事業	
事業内容	集団活動場面での児童生徒の不適応、発達障害等への支援の充実を図るため、専門的知識・経験を有する巡回専門相談員(委嘱)が小・中学校からの要請に基づき、現場に出向き、児童生徒の行動特徴などの把握を行いながら、教職員や保護者等への支援を行う。
実績等	平成21年度相談延べ人数 364人
点検・評価	巡回専門相談員が小中学校へ巡回を行い、教職員や保護者等への支援を行うことができた。
今後の課題・方向性	今後も継続して教職員・保護者等への相談事業を実施。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 4 ノーマライゼーション社会の実現
基本施策	バリアフリーの推進・障害のある方の自立支援

【特別支援教育の推進】<再掲>

校内支援体制の推進	
事業内容	特別支援教育コーディネーターを中心とした各学校の校内支援体制を構築するとともに、補助員・サポーターを配置し、特別支援教育の充実を図る。 金沢市就学指導委員会を開催し、専門的な立場から就学についての指導・助言を行う。 ・補助員 通常学級において教育的・介助的な支援をする。 ・サポーター 校外活動や行事等で一時的に支援をする。
実績等	特別支援指導補助員 51校58人 時間数延べ29,261.5時間 特別支援学級指導補助員 8人、特別支援教育サポーターの配置 就学指導委員会審議件数 233件
点検・評価	特別な支援を要する児童生徒は、年々増加する傾向にあり、個々に応じた教育を進めるために重層的・多面的な支援を行っていく必要がある。
今後の課題・方向性	今後も、支援の充実、効果的・効率的な活用を図りながら継続する。
特別支援学級・通級指導教室の設置、施設整備	
事業内容	特別支援学級を設置し、小・中学校学習指導要領のほか、特別支援学校学習指導要領を参考に特別の教育課程を編成し、指導を行う。通級による指導では各教科の内容を補充するための特別の指導を行う。また、学級設置のための施設整備や通学支援を行う。
実績等	小学校15校15クラス、中学校6校6クラスにて施設整備を行った。 特別支援学級の状況(平成21年5月1日現在) 知的障害特別支援学級 小学校51校118人 中学校15校39人 情緒障害特別支援学級 小学校43校91人 中学校18校33人 肢体不自由特別支援学級 小学校23校29人 中学校6校6人 病弱・身体虚弱特別支援学級 小学校2校6人 中学校1校2人 ことばの教室 小学校5校141人 中学校1校10人 きこえの教室 小学校2校10人 中学校1校2人 LD・ADHD教室 小学校3校37人 中学校1校14人
点検・評価	特別な支援を要する児童生徒は、年々増加する傾向にあり、個々に応じた教育を進めるために重層的・多面的な支援を行っていく必要がある。
今後の課題・方向性	今後も、支援の充実、効果的・効率的な活用を図りながら継続する。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 5 人権文化の創造
基本施策	人権の尊重

【人権教育・啓発の推進】

学校教育における人権・同和教育の推進<再掲>	
事業内容	学校教育全般を通じて人権・同和教育の取組及び人権・同和教育担当者が中心となった校内での教職員研修を実施。 人権・同和担当の指導主事を配置し、教職員の人権意識高揚と人権啓発の推進のための研修実施。金沢市同和教育研究協議会に対する支援。
実績等	人権・同和教育についての研修会を実施。
点検・評価	小中学校において人権教育を進めていくことは必要不可欠であり、そのため教職員に対する研修等を積極的に行っていくことが必要である。
今後の課題・方向性	学校教育全般を通じて人権・同和教育を推進するため、教職員研修、学校訪問等での指導助言等は継続していく。
社会教育における人権教育の推進	
事業内容	人権問題講演会、人権ネットワーク学習の開催
実績等	人権問題講演会 2回、人権ネットワーク学習 3回開催
点検・評価	開催を通じて広く人権・同和教育の普及・啓発を行うことが出来ている。
今後の課題・方向性	幅広い分野から専門的知識のある講師を選定することや、人権啓発ビデオを用いた研修会を斡旋するなど、引き続き普及・啓発に努めていく。

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 5 人権文化の創造
基本施策	男女共同参画社会の推進

【女性センターの運営】

女性センターの運営	
事業内容	女性が幅広い視野を持ち積極的に社会参加を目指すため、学習機会の提供と実践及び交流するための拠点とした施設。(昭和23年設立)
実績等	子育て中の女性や勤労女性の社会参画を応援するためのセミナーや講座を開催。 子育てネットワークセミナー他8事業 延べ受講者数628人
点検・評価	毎年、各講座ごとに受講生からの率直な意見・アンケートを取り、市民(特に女性)が望んでいることを分析し、次年度の講座に反映している。
今後の課題・方向性	女性の学習と交流の拠点として、多様化した女性の生き方を支援するとともに、男女の役割や責任も分かち合える真の男女共同参画社会の実現を目指した事業を展開していく。

平成21年度 金沢市教育委員会主要事務概要

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 災害に強いまちづくり
基本施策	防災計画の見直しと体制の強化

【学校施設の耐震化】

学校施設の耐震化＜再掲＞	
事業内容	地震防災緊急事業5カ年計画に基づき、昭和56年以前に建築された学校施設について、耐震診断及び耐震補強工事を実施する。
実績等	中学校施設：浅野川・高岡・西南部・紫錦台・野田中の耐震補強工事 泉中ほか2校の校舎耐震2次診断 高岡中ほか3校の体育館補強計画及び実施設計 小学校施設：材木町小ほか12校の校舎耐震2次診断 味噌蔵町小ほか1校の校舎耐震補強計画 花園小ほか10校の体育館耐震補強計画及び実施設計
点検・評価	施設の耐震化が図られた。 耐震化率 66.4%(H21.4.1) 67.4%(H22.4.1)
今後の課題・方向性	引き続き国の財源を活用しながら、金沢市学校施設整備計画検討会の整備計画を基本に、出来るだけ速やかに学校施設の耐震化を図る。

目標	安心して暮らせるまち・金沢をつくる
基本方針	- 1 災害に強いまちづくり
基本施策	地域防災・防犯活動の支援

【子どもの安全を守る地域ボランティア活動推進】

学校における児童・生徒の安全確保のため、安全管理対策の充実を図る。＜再掲＞	
事業内容	・学校行事日の受付業務 ・オートロック・テレビドアホンの設置、非常階段出入り口扉の設置、門扉・フェンスの整備 ・学校合同行事の警備 ・子ども見守りボランティアへの活動支援等
実績等	テレビドアホン・オートロック電気錠の整備・・・千坂小、三馬小、安原小、小將町中 子ども見守りボランティアへの支援(7,082人ボランティア保険に加入)
点検・評価	テレビドアホン・オートロックの設置、施設の改善等を行った。 子ども見守りボランティアへの活動支援(手帳支給、活動保険費負担)を行い、児童の登下校時の安全確保に努めた。 オートロック・テレビドアホン設置済学校数 60校(H21.3.31) 64校(H22.3.31)
今後の課題・方向性	今後も引き続き、継続して実施していく。

【地域健全育成団体への活動推進】

地域健全育成活動への支援	
事業内容	子どもたちが安心して心身ともに健康に暮らせる地域づくりのため、また地域住民の青少年健全育成意識を啓発するために下記事業を実施実施する対象団体に補助金を交付。 ・地域住民の青少年健全育成活動の意識啓発活動、青少年非行防止活動、有害環境の浄化活動、青少年健全育成の広報活動
実績等	平成21年度 52団体に計2,980千円を交付した。 各地区平均12回程度の活動を行なった。
点検・評価	各地区ごとにそれぞれの地域に即した特色ある青少年健全育成活動を展開している。
今後の課題・方向性	今後も支援を継続して実施。
地域健全育成活動団体の連携促進	
事業内容	地域の青少年健全育成推進団体の相互の情報交換や合同での研修会の実施を通じて、各々の地域での健全育成活動の取り組みの方向性、合同での事業の実施等についての調査と研究を行い、健全育成推進活動の効果をより高める。下記活動内容を実施する金沢市青少年健全育成協議会(各地域青少年健全育成推進団体61団体で構成)に交付金を交付。 ・各ブロック会議の開催(情報交換、研修)、全体研修会の開催、金沢市青少年健全育成推進大会の開催、警察等関係機関と街頭キャンペーンを実施。
実績等	平成21年度 全体研修会を実施したほか各ブロック会議が開催された。警察本部と合同で非行防止のための一斉街頭キャンペーンを実施。
点検・評価	市内酒類、たばこ販売店へ販売時の年齢確認徹底の協力依頼を実施。キャンペーンを通じて非行防止及び青少年の健全育成に関する啓発活動ができた。年齢確認徹底の協力依頼を実施し、未成年の飲酒喫煙防止を諮った。
今後の課題・方向性	今後も支援を継続して実施。
地域子ども指導員による巡回等	
事業内容	地域における青少年健全育成推進団体から推薦された方約500名を「地域こども指導員」に委嘱し、各地域の街頭での声かけや巡回により、非行防止に努め、有害環境の浄化を推進する。 ・各地区の街頭での声かけや巡回、市少年補導部門との合同研修会、巡回強化地区への市補導部門補導員との合同補導活動
実績等	平成19年度より名称を「子ども安全指導員」から「地域子ども指導員」に変更し、役割・性格の明確化を図るとともに、任期を2年とし資質の向上を図った。(3年目)
点検・評価	全体で465名が各地区で地域子ども指導員として非行防止活動と有害環境浄化活動を展開している。
今後の課題・方向性	今後も継続的な活動ができるよう支援を実施。

金沢市児童生徒「思いやりの心」活動奨励賞(平成21年度新規事業)

事業内容	「絆」教育の一環として、本市における児童生徒の思いやりの心を持って行った活動を奨励するため、優れた活動を行った学校及び児童生徒のグループを表彰する。
実績等	学校賞 7校(小学校5校 中学校2校) グループ賞 5校(小学校3校 中学校2校)
点検・評価	この表彰により、受賞した学校及びグループの活動内容が市内小中全学校に周知。優れた学校の教育的活動を情報共有することが出来た。
今後の課題・方向性	優れた学校の教育的活動を市内の小中学校へ情報発信するために、または奨励するために、この表彰を継続していく。

用語等説明

初出	用語	説明
P.4	学校教育金沢モデル	未来を担う金沢の子どもたちに、教育の充実と質の向上を図るため、平成16年度から実施しているもので、「学校2学期制」の実施、「小中一貫英語教育」の実施及び「学習指導基準金沢スタンダード」に基づく授業実践を柱とするもの。
P.10	立志	14才の少年少女を激励し社会人としての自覚を促すため昭和38年に日本児童文学者協会が「立春式」の開催を提唱。昭和45年度から青少年育成国民会議が全国的な運動として「立志の日」の推進を全国的に呼びかけ「立志式」「立春式」として広まったもの。
P.17	岡文化賞	元金沢市長(故)岡良一氏から寄託された基金1,000万円と、平成6年、同氏の長男岡一郎氏から寄附された1,000万円をあわせて基金とし、昭和56年から市内中学校の文化活動の奨励と情操豊かで創造的な生徒の育成に努めることを目的に、優れた文化活動を行った中学校や生徒を表彰している。
	宮村英語奨励賞	元金沢大学、金沢工業大学教授(故)宮村一之氏から寄附された1,000万円を基金とし、昭和60年から英語教育の振興を図ることを目的として、英語によるコミュニケーションに興味・関心を有し、英語の成績が優秀な中学校3年生に奨励賞を授与している。
	高峰賞	金沢が生んだ偉大な科学者であり、日米親善にも大きく貢献した高峰謙吉博士の功績を顕彰し、併せて理科学教育の充実と人材の育成により広く科学の振興に寄与することを目的として昭和26年に創設された。毎年、市内の中学校を対象に学校賞、個人賞を選考して表彰している。
P.18	サマースクール	夏季休業期間において、児童生徒の学習意欲を継続させながら学習の補充・発展を図り、さらに有意義な生活が送れるようにするために、児童生徒、学校、地域の実状に応じて各学校が企画・実施する補足的・発展的・体験的な活動。
P.19	学習指導要領	全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省で定めた、各学校で教育課程(カリキュラム)を編成する際の基準。各学校では、この「学習指導要領」等に基づき、地域の実状や学校の実態に応じて、教育課程(カリキュラム)を編成している。
	全国学力・学習状況調査	国が学校教育の現状や課題について把握する目的から、平成19年度から実施しているもの。国が実施主体であり、市町村が参加主体である。毎年4月に、小学校6年国語・算数、中学校3年国語・数学が行われ、併せて質問紙調査も行われ、結果が市町村及び学校、児童生徒に送付される。
P.20	ティーム・ティーチング	複数の教師が協力して行う授業方式の一つ。略称TT。
	EEC	英語教育専門員。English Education Coordinatorの略。金沢市の独自雇用で、小中学校における英語教育の指導及び助言、小中学校教員に対する英語教育並びに語学力向上に関する研修の企画・運営及び指導助言、英語インストラクター等に対する研修の企画・運営及び指導助言、ALTに対する指導助言、英語教育教材の選定・開発及び作成を担当している。
	複式学級	複数学年の児童生徒によって編成される学級。
	指導主事	学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事する教育委員会事務局職員。
	ALT	外国語指導助手Assistant Language Teacherの略。金沢市では、「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」によって招致した13名を雇用している。12名を中学校に、1名を高校に配置している。主な職務は、外国語授業の補助、外国語教材作成の補助、外国語能力コンテスト等への協力など。
P.22	学校図書ボランティア	学校図書館の活動を支援する目的で、館内の環境整備や、読み聞かせなどの読書活動を行っている。
P.25	スクールカウンセラー	児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者で、児童生徒へのカウンセリング、教職員や保護者に対する助言・援助などを行う。
P.26	特別支援教育	障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施される。

用語等説明

初出	用語	説明
P.26	特別支援教育 コーディネーター	校内で指名された教員が特別支援教育のコーディネーター的な役割を担う。主に、校内委員会・校内研修の企画・運営、関係諸機関・学校との連絡・調整、保護者からの相談窓口等を行う。
	通級指導教室	通級による指導を行うため、小・中学校内に設置された教室。通級による指導とは、小・中学校の通常の学級に在籍している比較的軽度の障害のある児童に対して、主として各教科等の指導を通常の学級で行いながら、当該児童生徒の障害に応じた特別の指導を特別の指導の場で行う教育形態。指導の対象となる障害は、言語障害、自閉症、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害等である。
	LD・ADHD	・LD(学習障害)：基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。 ・ADHD(注意欠陥多動性障害)：年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び/又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障害で、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすものである。
P.28	金沢市健康教育 推進プラン	金沢子ども条例を受け、平成15年3月策定の「金沢子どもを育む行動計画」を小・中学生の健康づくりの視点から具現化するために策定された健康教育計画。子どものこころと体に関する目指す姿を明確にし、行政、学校、家庭相互の役割を体系化し、具体的な取り組みを通して子どものこころと体の保持増進を図っている。
P.33	耐震化率	文部科学省の耐震基準を満たした校舎・体育館の棟数の割合。 (昭和57年以降に建てられた棟数 + 耐震診断により補強が不要とされた棟数 + 補強工事済みの棟数 = 耐震基準を満たした棟数)
P.35	子ども見守り ボランティア	主に小学校児童の登下校時に、不審者による犯罪や交通事故等を未然に防止するために通学路での見守りを行うボランティア。
P.41	指定管理者制度	地方公共団体や外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる(行政処分であり委託ではない)制度。(地方自治法の一部改正(平成15年9月2日施行)により可能となった)
P.43	自動車文庫	図書館から一定の遠隔地で図書館サービスを受けがたい地域に巡回貸出サービスを実施。改造したマイクロバスを利用して市内のステーションを月1～2回巡回。
P.44	国連寄託図書館	ニューヨークの国連本部附属ダグ・ハマースホルド図書館が認定し、国際連合の出版物や、各委員会の会議録や報告書を寄託する代わりに、その資料を公開する義務をもつ図書館。国際連合の活動の普及と理解を深める役割を担う。日本では、14館ある。
	(放課後)児童クラブ	地域により学童保育などと呼ばれている。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員のもと、こども(おおむね10歳未満)の生活の場を提供するもの。
P.46	書跡	書いた文字の跡、筆跡で歴史上・芸術上価値の高いものをいう。
	典籍	書物、書籍、本で歴史上・芸術上価値の高いものをいう。
	史跡	貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅その他の遺跡で歴史上・学術上価値の高いものをいう。
	名勝	庭園、橋梁、峡谷、海浜、山岳その他の名勝地で芸術上・鑑賞上価値の高いものをいう。